

射
の
矢
に
沿
う

創部50周年記念誌

同志社大学体育会アーチェリー部 OBOG 会



同志社大学体育会洋弓部（岩倉レンジ） 昭和46年



同志社大学体育会アーチェリー部（田辺レンジ） 平成22年

題字選定：鈴木直人先生（アーチェリー部部長）

題字揮毫：松山義則先生（アーチェリー部名誉部長）

いしかねも 透かれかしてて ひと筋に
射る矢にこむる 大丈夫の意地

明治二十三年一月五日「二十三年之春を迎えて」～漫遊記事
新島襄 大磯 百足屋にて



校祖 新島 襄

Doshisha College Song

Words by W.M. Vories

Music by Carl Wilhelm

1. One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!
2. We came to Doshisha to find
The broader culture of the mind;
We tarried here to learn anew
The value of a purpose true;
Dear Alma Mater, ours the part
To face the future staunch of heart,
Since thou hast taught us with high aim to
stand
For God, for Doshisha, and Native Land!
3. When war clouds bring their dark alarms.
Ten thousand patriots rush to arms,
But we would through long years of peace
Our Country's name and fame increase.
Dear Alma Mater, sons of thine
Will hold their lives a trust divine
Steadfast in purpose we will ever stand
For God, for Doshisha, and Native Land!
4. Still broader than our land of birth,
We've learned the oneness of our Earth;
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind.
Dear Alma Mater, sons of thine
Would strive to live the life divine;
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha, and Brotherhood!

Doshisha Heroes

Doshisha heroes ever must win,
Fight to the finish, never give in, La La La
All play your best, boys,
We'll do the rest, boys.
Fight for the Victory.
La, La, La,
Doshisha wins today.

Doshisha Cheer

One, two, three,
Who are we?
La, la, la, Doshisha!

One, two, three,
Who are we?
La, la, la, Doshisha!

One, two, three,
Who are we?
La, la, la, Doshisha! (applause)



同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて

同志社大学

学長 八田 英二

このたびは、同志社大学体育会アーチェリー部創部 50 周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。50 年の長きにわたって活動を継続してこられたことは、OB、OG の皆様、また関係者の皆様の並々ならぬ努力の賜物であり、易々と実現出来ることではありません。これまでの皆様の情熱あふれる活動に対し、同志社大学学長として、深く敬意を表する次第です。

校祖新島襄は、「智識あり品行あり、自ら立ち自ら治るの人民、いわゆる一国の良心とも謂う可き人々」の育成を目指して、同志社英学校を設立しました。学術技芸に優れているだけでなく、教養があり、品行があり、自己確立がなされている人物こそが、一国を支える人物になりうると考えたのです。学術技芸の知識伝達と人間性の涵養こそ大学の使命であり、創立時から変わることのない、同志社大学の目標です。同志社大学体育会アーチェリー部の皆様には、自らの身体能力だけでなく、精神的にもたくましく磨きあげ、是非、「一国の良心とも謂う可き人」となっていたいだきたいと思います。新島精神、同志社教育の精神を忘れず日々の活動に励まれ、競技者として、人間として、更に成長していかれることを心から願っています。そして、現役部員の皆様には、諸先輩方の志を受け継ぎ、その歴史と伝統に恥じることのない、堂々とした活躍を期待しています。今後もさまざまな活動に積極的に励まれ、この先 100 年 200 年と、同志社大学体育会アーチェリー部の伝統が続いていくことを願っています。

最後になりましたが、関係者の皆様の熱心なご指導と先輩の方々の多大なご助力に深く感謝申し上げますとともに、これからの活動を通じて同志社大学体育会アーチェリー部の歴史と伝統が今後ますます輝かしいものとなりますことを、心より願っています。



アーチェリー部創部 50 周年記念誌発刊に寄せて

同志社大学体育会アーチェリー部 OBOG 会
会長 森山 昭一

同志社大学体育会アーチェリー部は本年めでたく創部 50 周年を迎え、大変嬉しく思います。同志社アーチェリーに関与されます皆様と大いに歓びを分かち合いたいと思います。

洋弓に魅せられ中川先輩他の数名、弓道部のご支援を戴き洋弓班として設立された創世期、一年また一年と仲間が集い半世紀の歴史を刻んでまいりました。モンテリオール五輪銀メダル獲得を頂点とする数々の栄誉は記するに余るものであります。

早くも… 50 年

いつの間にか… 50 年

ようやく… 50 年

様々な気持ちが巡ります。各代各年度ごとに全力で戦った現役部員、時間的経済的犠牲を払い熱き指導をなされた監督・コーチの皆様。学生達を大きな心で見守り戴きました歴代の部長（故宮崎郁司先生・松山義則先生・鈴木直人先生）。アーチェリー部をいつ迄も愛し夢を託す OBOG の皆様によるご支援ご声援。総力が結集し今日の姿が築かれたと確信致します。

また同志社大学・同志社スポーツユニオン・同志社大学体育会弓道部他各運動部、全日本・全日本学生・関西学生・京都府などアーチェリー連盟等々の皆様方より長年に亘り適切なご指導を賜りました事も忘れてはなりません。深く心より感謝申し上げます。誠に有り難うございます！！

皆々様のお力添えにより同志社アーチェリーは創部 100 年に向け第二のスタートを切ることが出来ます。スタンスを変えること無く、どこまでも挑戦し続ける部を理想とし切磋琢磨せねばなりません。同志社人としてスポーツマンとして正しい心のフォームをまず確立させ、次に競技のフォームを作り上げ、強い同志社アーチェリーになりたいものです。世界を舞台に飛躍するクラブに。

我が OBOG 会には会則が無く、同志社の良心に基づく集団ならば不文律のルールに従えば良い…とのプライドにて年月が経過しております。

これからどんな苦境困難が有るかもしれませんが、正しいフォームで最善の努力を尽くせば、

早くも…

いつの間にか…

ようやく…

100 周年を迎える日が来る事でしょう！

同志社大学体育会アーチェリー部に力と勇気を下さいました皆々様に再度の感謝の気持ちをお伝えしご挨拶の言葉とさせていただきます。

目次

同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて.....	1
同志社大学	学長 八田 英二
創部 50 周年記念誌発行にあたって.....	2
同志社大学体育会アーチェリー部 OBOG 会 会長	森山 昭一
祝辞.....	4
同志社大学体育会アーチェリー部	名誉部長 松山 義則
同志社大学体育会アーチェリー部	部長 鈴木 直人
同志社大学体育会	会長 石川 健次郎
同志社大学学生支援センター	センター長 真銅 正弘
同志社スポーツユニオン	会長 濱 直樹
関西学生アーチェリー連盟	委員長 浦川 竜吾
京都府アーチェリー連盟	会長 神谷 育孝
関西大学体育会アーチェリー部	主将 坂根 佑一
関西学院大学体育会アーチェリー部	主将 吉竹 高志
慶應義塾體育會洋弓部	主将 近藤 和樹
明治大学体育会アーチェリー部	主将 石井 憲一
立教大学体育会洋弓部	主将 山村 裕一郎
立命館大学体育会アーチェリー部	主将 阿部 健治
同志社中学校・高等学校アーチェリー部	顧問 饗庭 一慶
同志社女子中学校・高等学校アーチェリー部	顧問 山田 慎吾
創部 50 周年を迎えて	14
同志社大学体育会アーチェリー部	監督 道永 宏
同志社大学体育会アーチェリー部	主将 金村 賢
創部 50 周年記念式典の記録（2010 年 7 月 10 日）	16
エピソードで振り返る 50 年.....	20
歴代役職一覧.....	34
歴代在籍者名簿.....	36
現役部員自己紹介.....	40
記録で振り返る 50 年.....	46
写真で振り返る 50 年.....	67
編集後記.....	78



アーチェリー一部創部50周年を祝って

学校法人 同志社 社友

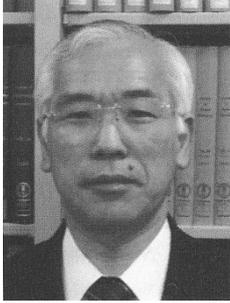
学校法人 同志社 前総長

同志社大学体育会アーチェリー部 名誉部長

松山 義則

アーチェリー一部が50年の輝かしい歩みを終えられつぎの半世紀に向かって進んでおられることをおよろこび申し上げます。はじめのころ、その創部の大業をなされた方がたのご苦勞をはじめ、歴代部員の赫々たる戦績をみることができます。まことに強力な優秀な部であると思います。

私が部長になりましたのは、初代部長の宮崎先生のあとでした。現在の濱直樹スポーツユニオン会長の薦めによるものであり、当時の監督コーチは金子先生でしたが、たまたま旧知の人でした。双方の父親が京都一中（今の京都洛北高校）の親友であり、金子先生のご尊父は同志社の英文科にすすまれ、チャーチル会にも属し油絵もよくする方でした。金子先生はスポーツマンであると同時に風流な方でもありました。私の学生時代は太平洋戦争の前夜から戦時中でもありましたので、武道が必修科目であり柔剣道と弓道のうち一つを選択しなければならず、私は弓道を選びました。濱さんや金子先生に手とり足とり教えられましたアーチェリーは弓道とは全く違った技法によるものでした。サンウッド株式会社の主催によるフィールドにも参加しアーチェリー部の先輩現役の方もおられ、とても楽しい会でした。かつて読んだことのあるロビンフッド物語のシャーウッドの森をロマンに満ちて想像したりしました。私の戦績はブービィ賞をいただくのでやっとなりました。当時はまだ練習場は岩倉校地にありましたので比叡山からの山風にふかれ部員の方たちが先輩の人たちとともに焼肉パーティーを楽しまれるなど愉快的なアーチェリークラブでした。アーチェリー一部に属される学生の方がたはアーチェリーの強力な選手でした。礼儀正しく友情をはぐくまれ、それぞれの世界観人生観を確立されていたと思います。アーチェリー部のますますのご発展を願っています。



射る矢にこむる

同志社大学体育会アーチェリー一部
部長 鈴木 直人

本記念誌のタイトルを『射る矢にこむる』といたしました。ご存知の方も多いと思いますが、この言葉は校祖新島襄が死去する3週間前の1月5日に作った和歌

「いしかねも透れかすとて一筋に射る矢にこむる大丈夫の意地」からとりました。

同志社大学アーチェリー部はこのたび創部50周年を迎えました。当初は弓道部の中の一つのグループとして結成されたと聞いています。それが今や同志社大学体育会の中でも有数のクラブに成長いたしました。創部当初を知る先輩諸氏におかれましては格別の思いであろうと推察いたします。

この50年の間、数々の輝かしい戦績を残してきてくれました。全国優勝男子5回、女子7回、そして3名のオリンピック選手、その他アジア大会、ユニバーシアード、世界学生アーチェリー選手権など、国の代表として出場した選手を数えたらきりがありません。

私が松山義則前部長に代わりこのアーチェリー部の部長に就任させていただいた年に30周年の記念行事がありましたので、もう20年間も部長を務めさせていただいていることとなります。この間の前述した部員たちの不断の努力による数々の活躍は言うに及びませんが、私が同志社大学アーチェリー部の方々と関係させていただき、何よりも素晴らしく誇りに思っていることは、部のOBの方々の献身的な協力と人の和です。森山OB会長、河内理事長、濱スポーツユニオン会長（前OB会理事長）などの人柄もあるのかも知れませんが、この半世紀「人ひとりを大切にす」温かい人間関係が築かれてきました。人間の社会において最も大切なものは人の和ではないかと思えます。特にアーチェリー部のように半ば個人での競技は、団体競技以上にこの人の和が大切であると思えます。そうした意味でも50年間人の和を大切にしてきたことが、数々の輝かしい戦績につながっているのではないかと思えます。

最近、同志社大学体育会の低調ぶりがよく話題になります。昨年も同志社にシンボルクラブを作りそこに金銭面などのテコ入れをしようという意見が出されました。他の大学でも同様のことが行われているとの説明でした。私はその案に異を唱えました。もちろん体育会の各部が強くなることは歓迎するところです。負け試合を見るよりも勝ち試合を見ることの方が楽しいのは人間として当然です。そのために、金銭的な面も含め大学が援助することに反対する気はありません。ただ、大学のクラブは勝つためだけにあるのでしょうか。大学のクラブ活動は何のために存在するのでしょうか。この視点が失われ、結果のみを追い求め、クラブ活動を通じて学生の育成を目的としている本来の目的を忘れていないか、昨今の風潮に流されているのではないかと思えてなりません。私は、オリンピック出場を目指すような超一流の部員もいれば、その競技が好きで好きで仕方がないが

試合には出ることができないような部員もいる、それが大学のクラブであると思います。つまり大学の体育会は上手な人、強い人だけで構成されているのではなく、まだまだ未熟な選手も共にスポーツを愛し、クラブを愛し、勝利を目指して共に頑張るのが大学のスポーツの在り方だと思います。初心者は一流の選手を一つの模範として、それを追いかけて追い抜くことを目指し、一流の選手は、そうした部員のエネルギーをもらい、また追いつかれないように不断の努力をすることで、部の総合力がアップしていくのが本来の大学のスポーツの在り方だと思います。この考えは理想論であるという批判を免れることはできないかもしれませんが、しかし、少なくともこれまで同志社大学アーチェリー部はこれを実践してきたと自信をもって言えると思っています。この姿こそ、同志社の目指す大学スポーツの在り方、2, 3の英雄の力を否定した校祖新島も了とする同志社スポーツの在り方ではないでしょうか。もちろん試合である以上、また体育会のクラブである以上勝利を目指して最大限の努力をすることは言うに及びません。ただ単に一流の選手を集めて勝てばよいという最近の大学スポーツの在り方に追従しない、同志社の、大学のスポーツの在り方の魁とあり続けていってほしいと思います。その意を込めて本誌のタイトルを「射る矢にこむる」とさせていただきました。同志社大学アーチェリー部がますます世界に羽ばたくことを願って50周年の挨拶とさせていただきます。





同志社大学体育会アーチェリー部創部 50 周年のお祝い

同志社大学体育会

会長 石川 健次郎

このたび同志社大学アーチェリー部におかれましては、創部 50 周年をお迎えになりました。誠におめでとうございます。同志社大学体育会を代表いたしまして、お祝いを申し上げます。

本年が創部 50 周年ということは、1960 年にアーチェリー部が創設されたことになり、それは全日本学生アーチェリー連盟の結成に先んずること 2 年、日本アーチェリー協会が全日本アーチェリー連盟と改称される 6 年も以前の船出ということになります。同志社大学アーチェリー部は、日本アーチェリー界草創期以来の有力メンバーといえます。このような輝く伝統とともに、選手はじめ関係各位の自覚および自立心は強靱で、目を見張る戦績を挙げ続け、創部以来永らく同志社スポーツの花形倶楽部の一つとして存在しています。数度にわたる全日本学生アーチェリー王座決定戦優勝、3 名のオリンピック出場、インカレ、国体での優秀な成績、さらにアジア大会、ユニバーシアードなど世界レベルでの活躍などの実績がそれを示しています。このような輝かしい戦績の蓄積は、文字通り学生アーチェリー界の覇者としての実力を示すものといえます。

これまで先輩諸氏が営々と蓄積してこられた、このような誇り高い実績を土台として、現役および未来の選手諸君の一層の奮起と活躍を期待いたします。そのためには日々の練習に一心不乱に打ち込む以外に道はありません。日頃の自由で、明るい練習のなかで、闘志を燃やし、自己を磨く努力を続けていただくよう期待します。練習で流した汗を、勝利の歓喜の涙に変えましょう。

このようにアーチェリー部員が日夜、自由に、伸び伸びと練習に集中し、試合に臨めますのも、部長、監督、コーチの方々はもちろんですが、「アーチェリー部 OBOG 会」の物心両面にわたるご支援、ご指導のたまものと感謝いたしております。今後ともアーチェリー部の充実、発展のためにご尽力賜りますようお願いを申し上げます。

この創部 50 周年記念誌が、先輩初め関係各位への感謝を表す場、より一層の飛躍を誓う場となりますよう、そしてアーチェリー部ならびに「アーチェリー部 OBOG 会」のますますのご発展を祈念するものとなりますようお祈り申し上げます。



アーチェリー部創部50年に寄せて

同志社大学学生支援センター
センター長 真銅 正宏

アーチェリー部創部50年を心よりお祝い申し上げます。

同志社スポーツの中には、創部100年を超えるクラブもいくつかありますが、アーチェリーは、弓道という競技をもつ日本においては、やや後れて普及した競技であり、当初はもっぱら弓道の「洋弓部」として競技が始められました。第二次世界大戦直後の1947年に「日本洋弓会」が結成されたあたりが、アーチェリー単独の公式組織の出発点とのことで、貴部もまた例にもれず、1960年に、同志社大学体育会弓道部洋弓班として活動を開始されました。したがって、アーチェリーという競技全体の歴史のなかで、貴部は、実に長い歴史をもつクラブであるともいえます。

アーチェリーは、長くオリンピック競技種目から外れていましたが、1972年のミュンヘン・オリンピックにおいて復活しました。この記念すべき大会に、同志社大学からも日比野正嗣選手が出場しました。さらに1976年開催のモントリオール・オリンピックにおいて、道永宏選手が銀メダルを獲得したことは、ひとり貴部のみならず、同志社大学のスポーツ全体においても、輝かしい歴史の一齣となっています。最近では、北京オリンピックに林勇気選手が出場したことも記憶に新しいところです。

貴部のホームページを覗いてみますと、学生たちのいかにも自由な雰囲気が伝わってきます。活動方針も、個々人の自主性を重んじる姿勢と、学生による自治組織であることが、強くうたわれています。OBOG会の組織も立派であることは、現在の同志社スポーツ・ユニオンの会長が、貴部出身の濱直樹会長であることから窺えるとおりです。

貴部の輝かしい歴史は、同時に、同志社スポーツの輝かしい歴史をも形作ります。50年を一つの区切りとして、貴部がさらにご発展されますことを、心よりお祈り申し上げます。



アーチェリー部 50 周年によせて

同志社スポーツユニオン
会長 濱 直樹

同志社大学体育会アーチェリー部が創部 50 周年の大きな記念すべき佳き日を迎えられることを心よりお慶び申し上げます。

創部以来すばらしい歴史と伝統を築かれ、多くの優秀な選手を生み出し、輝かしい戦歴を残されましたことは、私自身もスポーツユニオンのお役をしている者として喜びであり誇りでございます。

その長きの中に幾多の困難がありましたが、その時々の方々の懸命の努力と忍耐によって、又卒業生の皆様が一丸となって物心両面のご支援をされたことが今日を迎えられたことにつながっているものと思います。

私もアーチェリー部 OB の一員ですが、私たちの親クラブであります弓道部が 2009 年に 100 周年を迎えられました。洋弓部の創成期は弓道部に籍を置かせて頂いており、独立するまで温かく見守って頂いていたお陰でございます。その弓道部が 100 周年に女子個人の中江明美選手が全日本学生選手権大会で優勝され花を添えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

私たちアーチェリー部はやっと半分の 50 年でございますが、今日を迎えられましたことに対して弓道部の OB の方々に心より感謝を申し上げます。当初より金子和太郎名誉監督、宮崎郁司部長、松山義則名誉部長には大変お力添えを頂き誠にありがとうございました。

創立者新島襄先生は、明治 8 年に同志社英学校を設立され、翌年に同志社女学校を設立と同時に運動場を作り、体育の重要性を称えられ、時同じくして道徳面の教育にも力を注がれ、知育・徳育・体育の三身一体で同志社の精神、キリスト教の精神、新島先生の精神など調和の取れた教育を目指しておられました。私たちスポーツユニオンにも 3 つの活動方針と 3 つのクラブ三原則を掲げており、森山昭一 OB 会長、河内敬雄理事長、道永宏監督などの献身的なご指導で、世界に通じる選手を、世界に通じる同志社人を、世に送り出したいと願っております。

新島先生の申し子と言われておられます同志社出身の安部磯雄先生は「知識は学問から、人格はスポーツから」との名言を残されておられますが、私たちスポーツユニオンも「道徳なくして同志社スポーツの発展はない」と思っております。

今後も鈴木直人部長、森山 OB 会長はじめ役員の方々の皆様が一丸となって現役部員を支え、60 年、70 年と益々ご活躍、ご発展されますように願っておりますと共に、OB、OG の皆様、現役の方々には豊かな恵みとやすらかな平安がありますように心よりお祈り申し上げます。

又同志社スポーツユニオンにもどうぞ温かいご理解とご支援をお願いして 50 周年のお祝いと致します。

同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて

関西学生アーチェリー連盟
委員長 浦川 竜五

同志社大学体育会アーチェリー部創部 50 周年おめでとうございます。50 周年を迎え、記念誌を発刊されるに当たり、心からお祝いを申し上げます。

創部されて以来 50 年、現在に至るまで半世紀という長きに亘りアーチェリーの普及、発展に多大なるご貢献をいただき、アーチェリー部として発展を遂げてこられたことは、歴代主将を始め OB・OG、関係者の皆様方の並々ならぬご努力、ご研鑽の賜物と衷心より敬意を表します。

毎年、関西学生アーチェリー連盟主催のターゲット選手権大会、リーグ戦などの数々の大会で同志社大学の選手の方々が好成績を収め、大会を盛り上げていただき、我々関西学連としましても大変喜ばしく感じております。

アーチェリーという競技は体を鍛えるだけでは勝利をつかむことのできない競技です。50 年という長い年月の中、受け継がれてきたものをこれから活躍するであろう後輩方に伝え、貴部の発展、勝利への足がかりにさせていただければと思います。

同志社大学アーチェリー部の今後のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

創部 50 周年を祝って

京都府アーチェリー連盟
会長 神谷 育孝

同志社大学アーチェリー部 創部 50 周年、誠におめでとうございます。50 年という長い歴史の中で、同志社大学アーチェリー部は常に優秀な選手を輩出し、輝かしい成績を収めてこられました。京都府アーチェリー連盟も昨年創立 50 周年を迎えましたが、その発展に多大なる貢献をいただきましたことは言うまでもありません。

今後ともに発展し、一層の活躍がなされますことをお祈り申し上げます。

ところで、50 年前の 1960 年頃と言えば、私が府立大学に入学し、アーチェリーを始め、大学にアーチェリー部を立ち上げ始めた頃です。全国のあちこちの大学でアーチェリーが創部され始める時期です。その時、同志社大学アーチェリー部と言えば、しっかりした憧れのクラブで、試合に行くと常に上位を占め、かつクラブ員の行動や統制もしっかりしていて、大学のクラブはこのようであらねばと思い、私としては大学でクラブを結成する見本とさせていただきました。

私は、大学を卒業後、同志社女子中・高校に勤めることになり、その中・高校でアーチェリーをしたいと生徒に求められ、また中高でアーチェリークラブを造ることになり、ますます同志社大学アーチェリークラブとの繋がりができました。

そんな時、同志社大学ではアーチェリー技術が、盛んに討論されていて、正にアーチェリー技術立国として、全国に名を轟かせていました。一方、同志社女子中・高校のクラブでは私の技術指導力不足のところを大学にお願いしたところ、優秀な学生コーチが来てくれて、生徒を教えてくれました。そんなこともあって、女子中・高校の生徒への技術指導法が確立して行きました。古き時代の思い出の 1 ページです。

「一期一会」

関西大学体育会アーチェリー部
主将 坂根 佑一

「一期一会」。きっとどんな同じような一日でもこの「一会」はいたるところにちりばめられているのだと感じます。よく「旅で人は変わる」なんて言葉を聞くけれど、旅が人を変えるのではなく、その旅の中での一期一会が人を変えるのだと思います。それは人であり、物であり、風景であり、その一つ一つの貴重さを重んじればこそ、その人を変えるだけの大きな「一会」となるのでしょうか。だからこそ、私は毎日の中でそういう貴重な一期一会を重ねていたいと切に思います。

末筆ながら、同志社大学体育会アーチェリー部の今後のご活躍を心から願っております。今後とも、ご指導ならびにご鞭撻を賜りますようお願い致します。

同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて

関西学院大学体育会洋弓部
主将 吉竹 高志

此度は創部 50 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

半世紀に及ぶ今日までの貴部の歩みの中には、並々ならぬ苦勞とそれにも勝る努力があったことと拝察申し上げます。

50 年の節目を迎えた貴部の、より一層の活躍をお祈り申し上げます

同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて

慶應義塾體育會洋弓部
主将 近藤 和樹

創部 50 周年、誠におめでとうございます。

本塾洋弓部も 2009 年に発足 50 年を迎えましたが、両校の関係は試合の勝敗のみならず、部員間の交流においても格別な関係にあると思います。これは 50 年という歴史の中で先輩方によって培われた伝統の継承であり、これからも末永く続いていくものと確信しております。両校が切磋琢磨することによって、学生アーチェリー界の発展に貢献することを祈念しております。

同志社大学体育会アーチェリー一部創設 50 周年を祝して

明治大学体育会アーチェリー一部
主将 石井 健一

この度、同志社大学体育会アーチェリー一部が創設 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。長年の間同志社大学アーチェリー一部は全国選手から注目の的とされている素晴らしいチームです。その一方で、50 年という長い歴史の中で多くの方々の御苦労が少なからずあったことと思います。

今後とも同志社大学アーチェリー部の現役部員の方々、OB・OGの方々、ならびに関係者の方々の、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

同志社大学体育会アーチェリー一部 50 周年によせて

立教大学体育会洋弓部
主将 山村 裕一郎

この度は創部 50 周年、真におめでとうございます。

我が部も貴部と同じく本年、創部 50 周年を迎えました。貴部との交流は毎年変わらず同じ競技者として良い刺激になり、また掛け替えのないものとなっております。我が部は貴部と今後も良い関係を築けるよう精進してまいります。

これからも貴部の今までのような目覚ましい活躍が続くことを祈っております。

同志社大学体育会アーチェリー一部 50 周年によせて

立命館大学体育会アーチェリー一部
主将 阿部 健治

この度、貴部が創部 50 周年を迎えられます事、まことにおめでとうございます。皆様もさぞお喜びのことと存じ上げます。これも皆様の日ごろの努力と熱心さの成果と拝察申し上げます。

また、我が立命館大学アーチェリー一部も今年 50 周年を迎えることができました。半世紀にわたり貴校の方々と激闘を繰り広げてきたかと思いますが、今後も切磋琢磨し 100 年、150 年と共に歴史を創って参りましょう。

同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて

同志社中学校・高等学校アーチェリー部
顧問 饗庭 一慶

創部 50 周年心よりお祝い申し上げます。

私は 2010 年 4 月より 2 度目の高校アーチェリー部の顧問を務めています。現在、男子 30 名、女子 7 名、計 37 名のクラブとして元気に活動しています。この 5 月アクアリーナでの総合体育大会アーチェリーの部では女子が団体 2 位、個人でも 2 位と好成績を収めました。大学 OB 会長の森山様のご指導により、クラブらしいクラブへと変身を遂げつつあります。アーチェリーレンジも新キャンパスの中に、ほぼかつての大学用レンジと同じ場所に確保されたことは何より有難いことだと思います。

アーチェリーというスポーツを通じて、高校、大学ともより良い人間形成に役立つクラブ活動であってほしいと願っています。貴クラブの今後ますますの発展を祈念しています。

同志社大学体育会アーチェリー部 50 周年によせて

同志社女子中学校・高等学校アーチェリー部
顧問 山田 慎吾

同志社大学体育会アーチェリー部創部 50 周年にあたり、心からおよろこび申し上げます。

私自身はアーチェリーにかかわってまだ 4 年ですが、そのわずか 4 年の間にも、貴部の多くの部員や卒業生が優秀な戦績を残されているのを目の当たりにしてまいりました。また、オール同志社のときや女子中高から練習に寄せてもらったときなどは、大変ころよく指導してくださり、心技両立したすばらしい部員がそろっていることを、いつもうらやましく感じております。

今後とも、同大アーチェリー部がますます発展し、すばらしい活躍がなされますようお祈りいたします。



50周年を迎えて（全日本学生王座決定戦報告）

同志社大学体育会アーチェリー一部
監督 道永 宏

同志社大学体育会アーチェリー一部、創部50周年を迎えることができましたことを、大変嬉しく思います。

また、この50周年を共に迎えさせていただくことに私自身誇りを感じます。

2010年6月26日27日、静岡県掛川市「つま恋」において、全日本学生アーチェリー王座決定戦が行われました。我が同志社は男女共出場し、男子は5位、女子は準優勝という成績を収めました。予選ラウンドでは、普段の実力通りの点数で順調よく始まりましたが、決勝ラウンドともなれば全員緊張感が増し、自分をうまくコントロールできないようでした。

男子は、やはり近畿大学が一步リードし、日本体育大学、同志社大学がそれに追いつき追い越そうとしています。予選ラウンドと決勝1回戦を見ておきますと、同志社には、日本体育大学には勝てそうな勢いがありました。そうになると、決勝で近畿大学との勝負になると思っていたのですが、2回戦敗退。一発勝負24本の戦いとは怖いものです。最初の6本で勢いに乗らなければなかなか調子があがりません。男子は苦い経験となりました。

女子は順調に勝ち進み、準決勝で日本体育大学と対戦しました。

圧巻はラスト1本、同点で迎え、先に日本体育大学の選手が9点。この時点で、9点で同点、10点で勝利の場面、我が同志社の最終射者の矢は10点に。後ろで観戦しておりましたスタッフ達はガッツポーズ。いやあ よく射ってくれました。

この調子で決勝戦を迎えよう。と

しかし、決勝戦は緊張が倍増しているような結果で敗退。

でも選手たちは良く頑張ってくれました。この試合で一本一本の射の重さ、また緊張した状態でどうすればいいのか。を学んだような気がします。

今回はこの様な結果で終わりましたが、来年は一回りも二回りも大きくなった同志社のアーチェリーを見せることができると思います。

今回の悔しさは来年のエネルギーになると信じております。

最後になりましたが、この王座でたくさんのOBOG諸氏が応援に駆けつけて下さいました。来年こそはと誓いをもって、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

今後も何卒暖かいご支援をお願い申し上げます。



50周年を迎えて

同志社大学体育会アーチェリー部
主将 金村 賢

1960年に同志社大学体育会弓道部洋弓班として活動を開始し、この50周年という長い伝統の積み重ねに、主将として関わることができたことをとても嬉しく誇りに思います。

私がこの同志社大学体育会アーチェリー部に入部したのは、男子が王座優勝した翌年のことでした。ですから、入部当時、「大学生活の目標は？」と聞かれ、「王座で4連覇する！」と生意気にも答えていました。今から思えば汗顔の至りですが、そんな私を当時の先輩方は広い心で快く受け入れて下さいました。

初めて迎える大学のリーグ戦や王座決定戦でプレッシャーを感じている私に、先輩方は、「お前はそんなに緊張せんでいい！楽しく射ってこい！そのかわり、俺らが点数出すから安心しろ。」とリラックスさせ励まして下さいました。

この時から、私のアーチェリーに対する思いは変わり始めました。私は高校時代にも、団体戦などの経験はありましたが、アーチェリーは基本的に個人の力で戦う競技だと思っていました。ですが入学後の試合を通じて、大学でのアーチェリーは個人の力以上にチーム一丸となって戦う競技であることを痛感しました。

その後、私は主将として活動していく中で様々なことを学びました。それは、幹部同士や部員とのコミュニケーションの大切さであったり、主将として部員を統率するための指導力や責任の重大さであったりしました。今もそれは私にとって大きな課題ですが、今まで何とかやってこられたのは、同期や後輩たちの協力と、先輩をはじめOBOGの方々が培ってこられた団結力のおかげです。

今後も同志社大学アーチェリー部の益々の成長と隆盛を願って、微力ながら力を尽くす所存です。

最後になりましたが、OBOGの皆様方には今後ともよろしくご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

創部50周年記念式典 2010.7.10



創部50周年記念式典

祝賀会次第

司会 アーチェリー部OBOG会
副会長 山下 泰生

司式 学校法人同志社 理事長 野本 真也
司会 アーチェリー部OBOG会 副会長 山下 泰生
奏楽 小倉 恵子

合唱 同志社グリークラブ

前奏

記念行射

1972年ミュンヘン五輪 日本代表(1973年卒) 日比野 正嗣
1976年モントリオール五輪 日本代表(1979年卒) 道永 宏
2008年北京五輪 日本代表(2007年卒) 林 勇気

讃美歌

234A

一同

乾杯

同志社大学 体育会長 石川 健次郎

聖書朗読ならびに祈禱

司式者

祝宴

永眠者黙禱

一同

功労表彰

アーチェリー部 創設者 中川 令郎
歴代監督7名 代表 東 和徳
アーチェリー部OBOG会 前理事長 濱 直樹

式辞

アーチェリー部OBOG会 会長 森山 昭一

激励金贈呈

2010年世界フィールドアーチェリー選手権大会 日本代表(2006年卒) 上野 百百子
2010年アジア競技大会 日本代表(2007年卒) 林 勇気
2010年世界学生アーチェリー選手権大会 日本代表(商学部二回生) 足立 奈穂

祝辞

同志社大学 大学長 八田 英二

同志社スポーツユニオン 理事長 藤原 卓也

感謝状贈呈

アーチェリー部 名誉部長 松山 義則

頌栄

541

一同

記念品贈呈

アーチェリー部 主将 金村 賢

祝禱

司式者

部歌斉唱

部関係者一同

後奏

演舞

同志社大学応援団 チアリーダー部

謝辞

アーチェリー部 部長 鈴木 直人

カレッジソング 指揮

同志社大学応援団 OB会会長 稲田 秀一

閉会の辞

アーチェリー部OBOG会 顧問 濱 直樹

記念式典



学校法人同志社理事長 野本真也先生



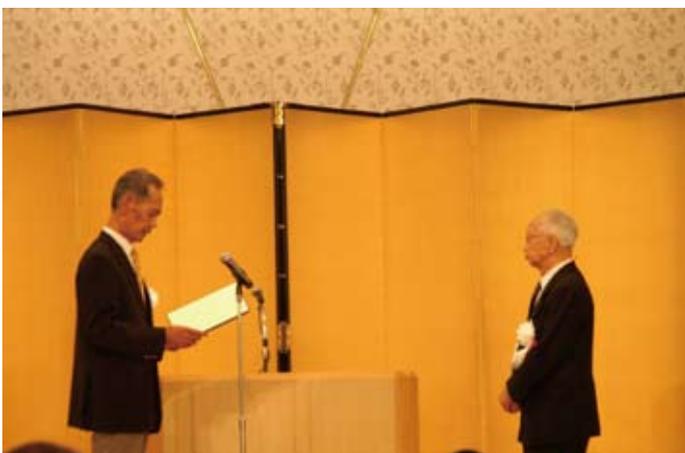
同志社大学体育会アーチェリー部OBOG会
会長 森山昭一



同志社大学学長 八田英二先生



学校法人同志社前総長 松山義則先生



松山義則名誉部長へ感謝状贈呈



同志社大学体育会アーチェリー部
部長 鈴木直人先生

祝賀会



同志社大学グリークラブ



オリンピック出場選手による行射
S54年卒 道永 宏
H19年卒 林 勇気
S48年卒 日比野正嗣



同志社大学体育会長 石川健次郎先生



S36年初代卒 中川令郎さんへ感謝状贈呈



歴代監督へ功労賞贈呈



S41年卒 濱 直樹さんへ功労賞贈呈



世界学生アーチェリー選手権日本代表
商学部2回生 足立奈穂へ激励金贈呈



アーチェリー一部主将 金村 賢 挨拶



歓談風景



チアリーダー部による演舞
応援団OB会長 稲田秀一先輩



道永監督を囲んで現役全員

エピソードで振り返る 50 年

年	エピソード
S35	5 月弓道部洋弓班として正式に承認される。
S36	
S37	<p>11 月弓道部から独立し洋弓部創設。体育会加盟。</p> <p>S35 年春 なにかスポーツをやりたいと思い弓道部へアーチェリーをやっていないかと確認したところ、あるお寺の一隅で和弓の的を使って洋弓をやっている人がいるというので、訪れたところ中川令郎さんが練習されていました。1 年後輩の佐藤君（途中で退部）と二人で中川さんにアーチェリー部を作りましょうとお願いし、弓道部へ申しました。その後、弓道部より竹内、石村両先輩が主将、主務として就任され私の友人、金原善一君、故坂本尚彦を誘い数人でスタートし、その後、同志社岩倉高校出身の上河建治君、渡辺一雄君、故木本潤二君、堀川高校出身の酒井英輔君、野村 毅君、斎田六史郎君、そして水谷威男君で同期 10 名が勢ぞろいし、無事卒業するまで仲良く楽しくやらせていただきました。 (磯淵 紘一)</p>
S38	<p>4 月岩倉レンジ完成</p> <p>楽しいけど苦しかったジプシー練習の時代</p> <p>35 年春弓道部洋弓班発足。弓道部道場において弓道部と時間を振り分けながら練習をしていましたが、36 年春に関西リーグ戦がスタートすることとなり 50m を射つ練習場探しが始まりました。</p> <p>危険を恐れ、練習場を提供してくれる先もなく、ジプシーのように放浪の上ようやく見つけた場所が、現在の国際会議場付近の空き地(草むら)。三脚と畳を搬入し、やっとの思いで練習出来ました。レンジ設営と後片付けは全員の日課。勿論着替える場所も無い有様。主務、幹部学年は場所探しの仕事のメインでした。</p> <p>試合寸前に練習不能となったことも有り、全員が負けてたまるか!と耐え抜いた時代。37 年秋、王座校関学大に定期戦勝利し、洋弓部とし独立承認。38 年春 待望のレンジ完成。40 年準王座 41 年 男子 王座獲得と繋がって行きます。苦難の時代があればこそ同志社アーチェリー魂が生まれたかなと思います。 (森山 昭一)</p>
S39	<p>7 月創立 5 周年記念誌「流水」を発行。</p> <p>同志社大学アーチェリー部創立 50 周年おめでとうございます。50 周年記念誌の原稿を依頼され、困った事は、大学を卒業して 45 年目になり余りに昔の事ゆえ記憶が乏しいと言う事です。乏しい記憶をたどりながらアーチェリー部時代（青春）を振り返ってみたいと思います。記憶が間違っているかもしれませんが、お許し下さい。</p> <p>私は昭和 40 年卒業の馬淵と申します。私が大学 1 年の時に入部したアーチェリー部は「同志社大学弓道部洋弓班」と呼ばれていました。和弓の道場で巻きわらの練習をした事を覚えています。しばらくして宝が池の競輪場の跡地（現在：宝が池子供の楽園）に畳と三脚を持って行き練習し、畳が雨に濡れない様に競輪場の観客スタンドの下に置いていたのですが、雨の後など畳が湿って重たくて、1 年生の私たちは大変苦労しました。また地面には雑草が生い茂っていたので、矢を的から外すと雑草の中に潜ってしまい探すのに一苦労でした。練習が終わると皆で地面に這いつくばって矢を探す事が日課となりました。</p> <p>我々の学年から初めて女子部員がアーチェリー部に加わり、以後徐々に女子部員が増えて来ました。アーチェリー部々歌も我々の学年の故梅沢君と加藤君によって作られました。1 年上の森山先輩が主将の時、弓道部洋弓班からアーチェリー部に独立したぞと森山さんが興奮して知らせに来た事を今でも覚えています。岩倉の同志</p>

社高校の地に待望のレンジが出来、正にアーチェリー部の創成期だと言っても過言ではないと思います。

弓道部洋弓班時代からご指導くださった故金子先生の三条大橋近くの老舗旅館でお世話になった事、初代部長の故宮崎先生がお嬢様と合宿地を訪問して下さった事、試合に出られなくて苦労した事等、この原稿を書いていると走馬灯の様に思い出されます。

私にとって大学時代はアーチェリー部一色でした、苦しみも有りました、喜びも有りました、甘酸っぱい出来事も有りました、正に青春ど真ん中でした。この素晴らしいアーチェリー部の歴史を半世紀支えてきた OB,OG の伝統を守り、次の半世紀に向けて更なる伝統を創り上げ、益々アーチェリー部が発展するようお祈り申し上げます。
(馬淵 武昭)

この度は同志社大学アーチェリー部の創部五十周年、誠におめでとうございます。私が在籍中に弓道部洋弓班から洋弓部として独立し、今では同志社アーチェリー部が日本のアーチェリーを支えていく存在となっていることは非常にうれしい限りでございます。

オリンピックの時期にはアーチェリーという種目を目にするにあたり、自分が学生時代に携わっていたアーチェリーを誇りに思い、我が後輩である皆様が参加、活躍しメダルまで獲得されたことなど、今更ながら歩んできた五十年の凄さに感無量でございます。

私の入部当初はレンジもなく田園や畑に囲まれた風景の中で、またある時は元宝が池競輪場で練習をしていたものでございます。

当時のエピソードは数多くございますが、男子部員が蛙を射って、女子部員に見せつけ私達が「キャーキャー」と逃げ廻った事や、野辺山での合宿の時、練習後の休憩時間を利用して、女子部員数名でサイクリングをし長閑な景色を満喫したり、お花を摘んだりして楽しんでいるうち、夕食時間に遅れる羽目になり、女子であるにもかかわらず男子部員扱いの様な御仕置きで、森山キャプテンにお尻を並べて幾度かたたかれた事、そして岩倉レンジの練習帰り、「トイメン」という食堂へ行く事が恒例であり、男子部員は空腹を満たす事が目的であったのかも知れませんが私達はお喋りを楽しみにしていました。

それにまだ飽きたらず帰りの叡山電車の中でも語り合った日々は若かった私達にはほろ苦い思い出を作ってくれていたと思います。

こうして私は大学時代を殆どアーチェリー生活で過ごした事が、卒業して何十年も経った今でも私の人生の思い出の大半をなしているのは事実です。

卒業後もあらゆる所でアーチェリーのお話が出るたび私が同志社アーチェリー出身だという自慢が出来る喜びを今更乍ら嬉しく思う昨今でございます。

今度は私が初代の OG であるという事から、その当時の思い出を綴っていただけたらと仰せ付かり、懐かしい気持ちと共にその頃の出来事やエピソードを皆様にお伝え出来ればとの思いから僭越ではございますが、ペンをとらせていただきました。末筆になりますが同志社アーチェリー部のご発展と部員の方々のご活躍、そして OB・OG の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。
(西山 佳世子)

S40 洋弓部創立 50 周年記念誌発刊誠におめでとうございます。いやー50 年とはたいしたものですね。来し方長い人生を振り返ってみましても、一番先に甦ってくるのはやはり 4 年間のクラブ生活です。
おぼろげながら記憶を紐解いて見ますと断片的ですが、和弓部道場での毎日毎日、竹弓、竹矢で巻き藁だけの練習、宝ヶ池競輪場での畳運び、加藤先輩がフルートを

吹きながら部歌を作曲していた光景、和弓部から独立してからのトレーニングが厳しくなったこと、岩倉レンジで1,2年ボックス 女子ボックス造りを手伝ったこと、恥かしながら金子先生を巻き藁相手にコーチしたこと、万年2位からの念願の関西リーグ優勝、野辺山合宿での厳しい練習と最後の日のキャンプファイヤー、4回生有志だけで小海線の各駅下車し各地を探訪した4回生時の開放感とこれからの去り行く寂しさ等々、どれもこれもがこれから社会に巣立って行くのに血となり肉となったと思います。

で数年前に濱氏の呼びかけで何十年ぶりに稲森氏、津田氏、堀口氏、山田氏、瀧五名が、濱氏宅にて奥様の手料理で一杯やりながらお互い姿は変われども昔の面影を残しているなーと関心も得心もしながら旧交を温めながらしばらく振りに学生の気分に戻らせてもらいました。41年度卒我々同期は3人も物故者を出しております。50周年記念の集いには同期全員が顔を揃えられればいいなと念願して止みません。
(岡田 良信)

昭和34年、洋弓が全国的に普及し始め、私たちの中に、大学スポーツの一環として同志社大学にも取り入れたいという気運が起こり、翌35年4月に、当時弓道部4回生の中川令郎先輩が発起人となり、弓道部内に和弓班と並行して洋弓班を設置する事を体育会の許可の下に決定しました。発足当時は正式な部員募集をするすべもなく、友達間の聞き伝えで数人が集まり、中川先輩の技術指導のもとに練習に励むことになりました。しかし弓の引き方、用具の知識、ルール等もよく判らず、苦労をしたものでしたが、熱心な練習と研究心が日に日に弓を上達せしめていきました。洋弓は新しいスポーツであり、未知なものであるだけに、各部員未来に向かって練習に励んだものでした。

この様に創立期に於いては和弓道場を借り、35年6月初代洋弓班の竹内彦博主将、石村昌則主務のもとに和弓班と交互に練習する事になりました。当時すでに関東には洋弓部が設立され、慶応大学、学習院大学を中心に立教大学、明治大学、成城大学、玉川大学等による関東学生洋弓連盟が結成されようとしておりました。

一方関西では、関学、立命館にも洋弓部が設立され、同志社、立命、関学が中心になり関西学連の基礎を作成し、立命館との初のオープン戦、11月には関学との最初の定期戦を行いました。これが関西に於いて初の公式試合として関西洋弓界に刺激を与え、翌36年1月にかつて草案になっていた関西学生洋弓連盟が結成され、春より関西六大学(同志社、立命、関学、甲南、関大、大阪府大)リーグ戦が行われることになりました。

リーグ戦の始まる4月初旬に日本楽器の浜松レンジで強化合宿を行い、部員たちは初めて50M、70M、90Mの距離を射ち、更に新しい技術開拓を促したのであります。合宿後、各人腕を上げ目を見張るものがありました。その後部員も40数名になり、女子部員も数名入部いたしました。

第1回春季リーグ戦は5月7日より、同志社対立命館を皮切りに8人制で50M、30Mの総計で勝敗を決する事に決定され、30Mしか練習が出来ない弓道場から宝ヶ池公園の空地に練習場を移すことになりました。全員で射場を整備し、50M、30Mの射てる場所を作りリーグ戦に向かいました。立命館、関大、大阪府大、甲南大と勝ち抜きましたが、6月4日の関学との優勝決定戦におしくも敗れ、準優勝に甘んじました。関西学連の初めてのリーグ戦の結果は次の通りです。

同大	2954	○	—	2350	立大
同大	2611	○	—	1506	関大
同大	2710	○	—	1530	大阪府大

同大 2994 ○ - 2730 甲南

同大 3291 × - 3561 関学

その年の6月下旬に第1回慶応大学との定期戦を結び、初の東京遠征を行いました。当時慶応は関東学連のリーグ戦で優勝しており、胸を借りたのであります。同大 3186×-3317 慶応で敗れ、涙を呑んだのであります。これが定期戦の初めての記録です。

9月に新役員金原主将、水谷主務のもと再び日本楽器のレンジで合宿を行いました。36年10月15日から11月12日迄に第1回秋季リーグ戦が行われ

同大 3433 ○ - 2964 関大

同大 3119 ○ - 2809 甲南

同大 3521 ○ - 3011 大阪府大

同大 3663 ○ - 2938 立大

同大 3562 × - 3771 関学

で春秋とも準優勝でした。

その後は個人戦が始まり、第2回個人選手全日本洋弓大会が10月29、30日に東京上井草球場で行われました。我が同志社より6名の選手が出場し、女子も参加致しました。その後36年11月29日に第1回関西学生洋弓個人選手権（オールラウンド）が行われ、男女共我が同志社が好成績を収めました。

37年、新しい年に入り、合宿後すぐの4月3日に第1回京都カップ個人戦が行われ、西川選手が優勝致しました。又、4月20日には立教大学を迎え、第1回立教大学定期戦が行われ、同大 3452○-3126 で圧勝しました。新学期のキャンパスでは現在にも劣らぬオリエンテーションで新入部員の獲得が始まり、キャンパスの机を叩いた好青年が後の洋弓部の柱となった濱直樹でありました。

春季リーグ戦では2勝3敗という成績に終わり、新役員の森山主将、加納主務、山口副将、加藤トレーナーの4人でスタート致しました。8月21日より信州野辺山の信州大学野辺山学舎に於いて夏期合宿を行いました。合宿後の9月1日、2日に東京小石川に於いて、第1回全日本学生洋弓個人選手権（インカレ）が行われ、男女共好成績で全国に同志社の名が響き渡ったものであります。11月18日に第3回関学定期戦が行われ、過去2回の連敗に一矢を報いることが出来ました。同大 4064○-3909 関学で、この記録は日本新記録でありました。11月30日の同志社大学体育会主将主務会議（マネ会）に於いて、『部』の独立が認められ、役員が次の様に決定致しました。

部長 宮崎郁司先生、監督 金子和太郎先輩、コーチ 中川令郎先輩 で、全員で心を新たに益々精進したものであります。

38年4月にかねてから大学と折衝を重ねておりましたレンジが岩倉に建設され、我々部員全員の念願でありました自分達の練習場が完成しました。レンジは日本一広く、90Mも可能であり、比叡山の下、打倒関学を旗標に王座獲得に向かって一丸となったのであります。幅20M長さ110Mであります。このレンジ建設には金150万円也の費用がかかり、大学側100万円負担、クラブ側50万円負担ということであり、我々クラブ側は3年間でこの金額を返金するとの約束でした。諸先輩の方々には大変な努力をして頂きましたが、思うように寄付も集まらず、大変苦勞を致しました。レンジ費返済委員会で計画して毎年祇園でのダンスパーティを開催したり、大きな計画では大阪フェスティバルホールで東京キューバンボーイズコンサートを38年7月に開催し、心配しておりましたが大成功裏に開催をすることができ、21万円もの利益を上げ、返済の大きなプラスになりました。又、この成功には、関西学連の皆様や各大学の皆様の後援があればこそと、心より感謝をしております。

	<p>8月16日より信州野辺山にて合宿を行い、9月1日、2日に神戸王子競技場で行われる第2回全日本学生アーチェリー大会に出場する我がクラブの濱選手を含む10名が特に長距離の練習に励みました。又、10月27日に関西で初めての関西女子団体戦が行われ、同志社の有本、安本、三輪選手が50M、30Mの総計1110点で優勝、これが女子戦の始まりとなりました。</p> <p>39年、新年を迎え、藤井主将はじめ幹部揃って平安神宮を参拝しリーグ戦優勝を誓いました。2月15日に森山主将はじめ4名の先輩の送別コンパが行われました。3月17日には南紀の日置海岸で春のリーグ戦に向けての合宿を行いました。合宿所は新築の為、まだ畳もふすまも入っておらず、風呂も出来ておらず、バスで近くの銭湯に通いました。その合宿で幹部と2回生全員が退部届を出すという一幕もありましたが、さすが目的を同じくした仲間は雨降って地固まるの如く、翌日から練習に打ち込みました。4月29日から5月31日に春のリーグ戦が始まり、結果は又も4勝1敗で関学に涙をのみました。</p> <p>翌40年に岡田主将、濱主務の新体制でリーグ戦に臨み、創立以来初めて関学を倒し、王座に挑戦したのでありますが、明治大学に屈し、全員号泣したものでした。その頃、岩倉レンジにも慣れて来て、部員も100名近くに増え、それまでグランド横の“対面”と言う食堂の裏倉庫を道具置場として使用させて頂いておりましたが、レンジにボックスを、ということで4~5名のスタッフで3ヶ月間かかって立派な物を建て、男子ボックス、女子ボックスが出来たのであります。思い出しますと、“対面”のカレー蕎麦1杯50円・・・忘れられません。</p> <p>その甲斐あって連勝連勝で、翌41年山崎主将のもとで関西を制覇し、関東の覇者明治大学を京都府立グランドに迎え、ついに念願の王座獲得を成し遂げてくれたのであります。</p> <p>ここに同志社の第1期黄金時代が築かれました。その時卒業生の山口先輩がコーラに入社されておられましたので、我がアーチェリー部がカチワリにコーラやファンタを冷やして販売をして、5万円程の利益を得たのでありますが、その行為が話題となり、その後あちらこちらで試合場でのコーラの販売が流行りだしました。</p> <p>創立以来41年春までの5年足らずの間に、洋弓班から部に独立し、王座まで獲得出来、大変嬉しい限りでございます。昔の記憶と少し書き留めておりました記録を記事に致しましたが、なにせ50年近く前のことです。間違っている所もあるかと存じますが、懐かしい思い出として筆をとりました。新居康弘先輩の記録も随分参考にさせて戴きました。</p> <p>我がアーチェリー部の根底は初代宮崎郁司部長、金子和太郎監督はじめ京都府アーチェリー連盟の上田啓治先生はじめ皆様の暖かいご理解とご指導、その賜物と存じます。</p> <p>その後も松山義則部長先生はじめ歴代の監督、コーチの献身的な指導で今日を迎えられましたことに心より感謝を申し上げる次第です。現在は鈴木直人部長先生のもと頑張ってもらったお陰で平成22年の体育会表彰では大谷総長杯と八田学長杯を頂戴致しました。今後はご卒業されたOB、OGの皆様、現役部員の方々に豊かな平安がありますように心よりお祈りをして、更に60年、70年とアーチェリー部が発展して行きますように願っております。</p> <p style="text-align: right;">(濱 直樹)</p>
S41	<p>男子王座獲得(初優勝) 第5回王座決定戦で明治大学に勝利し王座獲得。第1回女子団体決勝戦で学習院大学に敗退、準優勝。(於 京都府立大学植物園グランド) (山崎 芳一)</p>
S42	<p>3月最優秀クラブとして総長杯獲得</p>

S43	<p>S43 年の春合宿は、岡山県の渋川という海水浴場のそばの小学生の研修用の臨海施設でしたが、ちょうど中日頃に事件が起きました。</p> <p>夜遅く施設の事務所に若い女性が、今日知り合ったばかりの二人ずれの男性の一人に、海岸を散歩中乱暴されたと飛び込んできました。彼女の連れの方がもう一人の男性と一緒に、その女性を助けてくださいとのことで、施設の職員から救助の依頼がありました。</p> <p>幹部で相談の上男子全員を数チームに分け、近くの岡山大学の施設等から、懐中電灯（当時はそう呼ばれていました）を調達し、捜索に出発しました。出発直後、宿舎の入り口近くで向こうから歩いてくるアベックに出会いましたが至極なごやかな様子に、まさか当の二人とは思っても見すごしてしまいました。その後数時間、明け方近くまで、夜の闇の中を、先頭のライトと星明りを頼りに、山道でつまずき、坂ですべり、無人のバンガローなどを、3月の夜寒の中を探し回りましたが見つかるはずもなくまったくの徒労でした。</p> <p>その間、我がアーチェリー部の女性戦士達は、事情が良く判らぬまま宿舎の部屋に立てこもり、弓に矢をつがえて暴漢の侵入に備えていたそうです。男が全員出払ってしまい、女性たちは心細く生きた心地がしなかったそうで、後で幹部達は相当なじられ閉口したそうです</p> <p>また愉快的思い出としては宿舎の風呂で同期のK君が、たまたま置いてあった犬のシャンプーを知らずに使った後にI君に指摘され皆で大笑いになったこと、合宿中は甘いものに飢えていて、夜の自由時間に宿舎近くの食堂にぜんざいを食べに毎日のように通いましたが、お湯で薄めていたようで合宿の終わりころにはかなり薄くなって箸ですくっても小豆の粒らしいものがなくなって、驚きあきれたことを思い出します。</p> <p>その後社会人になって、昭和61年に全ア連の全国審判員の講習会が岡山県渋川であり、その会場が合宿中にトレーナーのK君がランニングの折り返し点に選んでいた国民宿舎で、周りの景色が本四架橋の建設中以外変わってなく学生時代が懐かしく思い出されました。 (番 隆三郎)</p>
S44	<p>創立 10 周年記念式典(11 月 23 日緑風荘)</p> <p>今から 40 年前、私たちが 4 回生の時に、同志社大学アーチェリー部（当時は洋弓部）は創部 10 周年を迎え、最初の記念式典を開催いたしました。同志社大学の体育会の中では、我が部はまだ新参者でした。それが 20 年、30 年と年月を重ね、とうとう今年で半世紀、50 周年を迎えました。その 50 年の中には部としての成績の良くない時もありましたが、長年関西リーグに於いては上位に在り、常に優勝争いをする素晴らしい成績を残しています。又個人の活躍でもオリンピックを筆頭に世界レベルの選手も数多く輩出しています。学生スポーツ界に於いては、部員が毎年入れ替わっていく状況の中で、常に好成績を維持していくことは大変なことだと思います。</p> <p>私たちの頃は新入部員のほとんどが未経験者で 1 回生は基礎練習で、2 回生でやっと戦力になる者が少し出て来ると云った状態で、年度によって部の戦力の差がありました。当時の技術や道具等は現在に比べたら稚拙な物で、30m で 6×6 射で 300 点が出れば立派と云う状態でした。現在の様なハイレベルの戦いではより一層の技術力のレベルアップ、精神力の強化、そして部としての団結力が求められるでしょう。これからも強い部として継続していくためには、先輩諸兄に依って築かれた伝統に誇りを持って、部員一同がより一層切磋琢磨される事を望みます。</p> <p>最後に 50 周年を迎え、同志社大学アーチェリー部の益々のご隆盛の為には OB 会の絶大な現役支援が必要であり、OB、OG 皆様のご協力をお願いしたいと思います。 (馬淵 章二)</p>

S45	<p>丁度、万博開催そして 70 年安保とまさに激動の時期だった。全共闘がキャンパスを占拠しロックアウト、校内に入れず授業は殆ど行われなかった。かろうじてゼミだけは御所の庭や「わびすけ」等で開催、あとはレポート提出で単位認定、このお蔭で卒業できた同級生も多かったのでは？</p> <p>授業がないのでノンポリ軍団の私達クラブは必然的に毎日活動、いろいろと疑問を感じ辞めていった部員も続出した。そういう訳で練習量はたっぷり、しかし疲れすぎか？集中力や目標に欠け男女とも成績はイマイチ。</p> <p>春の合宿は岡山玉野の海岸、夏の合宿は長野野辺山の信州大学のグラウンド、長閑な雰囲気だった。</p> <p>まだ、しごき？が残っていた頃で連帯責任と称し今なら信じられない随分荒い罰やファイヤーの後、男子だけの秘密の歌や儀式があった模様。春の合宿では海に放り込んだり、幹部交代の日はみんなで宝ヶ池に行きボートから池に投げ込まれることも・・・今なら新聞沙汰かも？</p> <p>汗や涙を流した岩倉のレンジ、四季折々の比叡山の姿が目に浮かぶ。あの頃は少しも変とは思わなかった「ちわ〜」や「した〜」という挨拶も懐かしい。弓はベア、ブラックウイドウ、ホイット、そしてヤマハが全盛の時代、もう 40 年も昔の話。</p> <p style="text-align: right;">(塚本 廣子)</p>
S46	<p>大阪万博や学園紛争の時代でした。休講が多くて練習もタツプリのわりには男子戦績はたいしたことなかった(恥)が、他校との外交(?)が得手。関西男子では桃山学院が全盛期。</p> <p style="text-align: right;">(長底 利剛)</p> <p>過去：合宿等の思い出は他のOG・OBに譲るとして、私の、アーチェリー部員としての過去で最大のものは、当時、時代を越えて普遍的な基本を学んだ事です。その後の弓具・技術の進歩に柔軟に対応出来るのも、当時学んだ基礎のおかげと感謝しています。</p> <p>現在：私の人生に占めるアーチェリーの存在は今でも大きく、弓の強さも変わりません。今後の肉体の変化は、某国総理大臣の言を借りれば、“未知との遭遇”ではありますが、予測できない楽しみを感じています。</p> <p>未来：同志社アーチェリーのもう一つの集まり—全国レベルの大会での一が盛んになれば・・・と思います。私には『アーチェリー競技で勝敗を決するのは、その人の持つモチベーション（弓に限らず、人生・目標・夢等）の高さ』との仮説があります。今後出来るだけ数多く、同窓部員と大会会場でその高さを競い、合せて一致協力して同志社の存在を大いにPRしたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(久永 彰)</p>
S47	<p>女子王座獲得(初優勝)</p> <p>私たちの学年は、入部した年に 10 周年を迎え、3 年前に取った男子王座を奪い返すべく、「打倒！桃山学院」に燃えていた頃でした。先輩達の真剣な姿に身の引き締まる思いをしたことが思い起こされます。</p> <p>我々の仲間も初めは男女で倍近くいましたが、最後には男子のみの 8 名になり、幹部学年の時は、男の飛田君が女子リーダーになりました。この時の女子は、前年に全日本優勝者の布浦を退部で欠き、残ったのは補欠なしのたった 5 人だけというギリギリの状態でした。それがリーグ戦を勝ち抜き、ついには女子王座を獲得するという快挙を成し遂げました。この時の女子の根性は特にすごかったです。今は皆さん優しい女性ですけど。</p> <p>また、男子は惜しくも桃山学院に破れ、リーグ 2 位でした。しかし、声を一切出さず黙々とシューティングする団体戦法は、我々の迫力と相まって多くの相手校を威圧したものでした。そして、8 人の背中に D・O・S・H・I・S・H・A の文字を一文</p>

	<p>字ずつ入れ、One for All, All for One を実践するべく戦いました。</p> <p>色々思い出しますが、本当に同志社大学のアーチェリー部に入って得難い物をたくさん得ることが出来ました。これからも部の特長を生かし続けて、発展して行くことを願っています。</p> <p style="text-align: right;">(日比野正嗣)</p>
S48	<p>女子王座獲得(2年連続2回目)</p> <p>男女共関西リーグ戦制覇。王座決定戦では、男子は慶応に敗れ悔しくて泣いた準優勝。女子は、完全優勝。野辺山夏合宿最終日のキャンプファイヤーでの他女子大生との熱い交流。勉強はしなかったが、アーチェリーに恋に忘れられない思い出がいっぱいの大学4年間でした。</p> <p>One, Two, Three...Who are we? la, la, la...DOSHISHA (木村 和彦)</p>
S49	<p>女子王座獲得(3年連続3回目)</p> <p>昭和48年春、男女そろっての関西リーグ優勝を果たした。次に目指すのは王座獲得。当時の王座決定戦は、50m・30m×各36射、男子は8名女子は5名で戦った。東西のブロック戦で王座出場校を決めたが、西ブロック戦は九州学連代表と関西学連代表がいつも九州で対戦する事になっていた。ちなみに王座決定戦は、毎年東京の駒沢で行われていた。大変なのは遠征費用。当時サブマネ(副務)だった杉藤氏と私は、現ユニオン会長の浜直樹先輩のアドバイスで、OB会費を集めることにした。会費3千円、寄付一口2千円だったと思う。地図を頼りに一軒ずつ回った。ほとんどの先輩は初対面だったが、3千円、5千円、中には1万円と、たくさんの先輩から頂いた。食事や酒も御馳走になった。気のせいか、奥さんに見えないよう渡して頂いた方もあったように思う。先輩とはなんと有り難いものかをつくづく思った。これが最初のOB会費だと思う。翌年も関西リーグでアベック制覇し、多くの援助を頂いた。女子は連続王座を達成し、男子は連続で慶応に負けた。</p> <p style="text-align: right;">(亀井 邦彦)</p>
S50	<p>創立15周年記念式典(2月9日京都産業会館)</p>
S51	<p>男子王座獲得(10年ぶり2回目)</p> <p>1976年 男子：関西リーグ優勝・西ブロック優勝・王座獲得(VS中京) 女子：関西リーグ優勝・西ブロック？優勝・王座準優勝(VS日体大)</p> <p>この度はアーチェリー部創部五十周年誠にありがとうございます。創設以来の諸先輩ならびに後輩方の頑張りの賜物と存じます。</p> <p>さて、私たちの学年は昭和52年3月卒業で、第17代の幹部学年になるかと思えます。現役時代を振り返ってみて、一番の出来事は何と言ってもやはり、男子が10年ぶりに王座を獲得したことです。当時は、現在とは競技方法が異なり、8人(エイト)の選手による総合得点を競う試合形式で、2年生の秋の定期戦・練習試合は連敗が続き、初の2部陥落かと思われる程の随分と厳しい状況でしたが、3年生の春には、近畿大学には破れてしまいましたが関西リーグ2位、4年生の時に念願の王座獲得が成りました。どん底から頂点までを経験した4年間でした。この間、モンテリオール五輪で銀メダルを獲得した現監督の道永さんやOB・OG会理事長の河内さんといった選手の加入が大きかったです。彼らに皆が刺激を受け、一皮むけて互いが良い意味でのライバル関係でレベルがアップした時ではないでしょうか。残念ながら女子は王座決定戦で日体大に敗れてしまい、アベック優勝はなりませんでしたが翌年にはこの課題も達成してくれました。</p> <p>生意気を言うようですが、看取り稽古・数稽古・工夫稽古という言葉があります。良いお手本をよく見て、何回も繰り返し、自分なりの工夫を加えて練習を積むという事かと思えます。現役の皆さんも身近に良いお手本が存在すると思えます。良いところは取り入れ、改めるべきところは改め、互いが向上するよう練習に励んでいただければと思います。またこの事は、角度を少し変えてみると社会生活にも充分</p>

	<p>通用する事だと私は思います。 結びに今一度アーチェリー部の歴史を築いて頂いた先輩諸兄に感謝申し上げるとともに、これからの歴史を築いていかれる現役の皆さんの一層の頑張りをお願いいたします。 (田中 稔章)</p>
S52	男子王座獲得(2年連続3回目)
S53	<p>男子王座獲得(3年連続4回目)女子王座獲得(4年ぶり4回目) 史上初の男女アベック優勝 洋弓部からアーチェリー部へ名称変更 三年連続男子王座獲得・女子王座獲得・史上初男女アベック優勝。やることはやる、負けず嫌いでゴンタな学年。 トレーニングで宝ヶ池まで走った後のお楽しみボート遊びは、水遊びと言うより怒涛の水合戦。四年生の春合宿最終日は海に投げ込み投げ込まれ…水の中でも負けず嫌い&やんちゃ魂はピカイチでした。 (河内 敬雄)</p>
S54	<p>創立 20 周年記念式典(11 月京都国際会館) 昭和 54 年秋、私が 4 回生の時、宝ヶ池の国際会館で創部 20 周年を祝う式典が盛大に執り行われました。爾来 30 年、時は移ろい、その流れは弓具、練習場所、合宿場所、試合形式など、あらゆるものに変化をもたらし、そして今や現役として活躍する面々は既にしてわが子の世代。正に感無量であります。遠く当時の記憶をたどれば、男子王座 3 連覇、しかも 3 連覇目には男女アベック優勝という偉業達成の後を受けつつも、あえなくリーグ敗退と連覇に土をつけた主将として、身のていたらくに恥じ入るばかりです。それでもなお、入学以来 3 年間に及ぶ連戦連勝の記憶は今もこの身を熱くします。とは言え、それはまるで、遙か遠くに浮かんで見える蜃気楼に似て、ひとつひとつのディテールならば実に生き生きと思い出されるのに、それが何時のことだったのかとか、どちらが先でどれが後だったのかなど全体を捉えようとする途端に曖昧になってしまいます。これも老いの始まりでしょうか。50 周年に寄せて、当時のエピソードの一つなりとも披露しようかと筆を取りましたが、野辺山の夏合宿、夏の個人戦、秋の定期戦、紀伊田辺の春合宿、リーグ戦、西ブロック、王座、納会をはじめ数々の行事等等、思い出は尽きないものの記憶は取りとめもなく、敢えてひとつを選ぶ事ができません。ここはひとつ往時を偲ぶ「岩倉の現在」をいくつか書き留めて筆を置きたいと思います。 学生時代を通じて私たちの練習場と言うより生活の場であり続けた岩倉レンジは田辺キャンパスに移転し、跡地はリニューアルされ、現在は高校生の練習場になっています。高校の敷地内には小学校が新設され、今年から中学も移転して来ています。馴染み深かった周辺の喫茶店では、練習場脇のサンモリッツは既に無く、市バスの操車場跡にはホームセンターが建っています。ラグビー場向かいのワールドコーヒーも既に無く、コンビニに変わってしまいました。唯一ドルフのみが当時と同じ姿で今も営業しているのと、リニューアルされ、グリルタカラの名で営業中のたから食堂くらいが昔の名残でしょうか。 最後にOB諸兄、OG諸姉皆様方へ。機会あらば是非一度、試合観戦に足をお運び下さい。年を隔てているからと臆する事はありません。必ず心通うものがあるはずです。そして、確かめてみて下さい。時は流れ、事物や人が変わろうとも、そこにあの日流した汗や涙とともに燃やし続けた情熱が、今もなお脈々と現役諸君の中に息づいていることを。何故なら私たちは皆、同じ土にまかれた一粒の種子なのですから。 (伊東 弘之)</p>
S55	<p>男子 S51-53 年と 3 年連続王座獲得の 2 年後の S55 年。「女強男弱」時代へ突入。男子二部落ちの恐怖感の中でのリーグ戦。今や有名なオリンピックメダリスト「山本博氏」をセレで獲得予定であったが、残念ながら、合格できなかった。</p>

	<p>夏は暑く、冬は、雪が積もる岩倉での練習。でも練習中の水補給は禁止。野辺山夏合宿・レタスの味噌汁・ポップ牛乳・注射のできない老医者。岩倉ロータリーの罰トレ。寒い中走った八瀬への10kmランニング。岩倉の「虎角」(こかく)という飲み屋でよく集まり、酔っ払って、2階から外に向かって、吐きまくったK君。銀閣寺近くの居酒屋「ん」で、飲んだあと、パンツを脱がされて胴上げされたU君。レンジでのキャンプファイヤー。きたない部室とカビ臭いユニフォーム。皆に思い出を聞きましたが、男は酒飲んだ思い出がほとんどでした。今では、あの頃は無茶したなあ、という感想ばかり。</p> <p>同期で、最も体を鍛えて健康的だった、川村氏が、病気ですでに他界したことが、我々同期にとって、この数年で最もショッキングな出来事です。(村上 雅之)</p>
S56	<p>明治との合同合宿で、意地の様に走った事、その後の宴会もなつかしい。日比野さんに教えてもらった同志社逍遥歌の演舞、今でもできる。酒を覚えたのもこの頃。非常に鍛えられた。雪の中、大原のマラソンもきつかったが、走った後の温かい飲み物が最高。遅刻等による罰トレも多かった。当事者は仲間から非難される中、「皆の体力アップになる」とのたまっていた。貧乏学生には、器材を揃えるのは大変で、矢を1ダース購入は結構思い切りがいった。その新品の矢で10点に入り「よっしゃ」と喜んだのもつかの間、次の矢がすぎ矢で愕然と落ち込んだ事も……。幹部時代のリーグ戦、宿敵近大は圧倒的に強かった。もっと頑張る事できなかったのかとの非常に悔しい思い出もした。リーグ戦で調子が悪く、選手交代となった時の悔しさ、皆への申し訳ない思い。(神出 隆司)</p>
S57	<p>女子王座獲得(4年ぶり5回目)</p> <p>リーグ戦、2ブロック制の初年度。男女共ブロック優勝！</p> <p>各ブロック1位同士の対戦による総合優勝決定戦では、男子は宿敵、近畿大学に善戦するも残念ながら敗退。女子は、最強メンバーでリーグ戦総合優勝！(アーチェリーではなく別の意味での「最強」) その後も、見事に勝ち進み王座を獲得！！王座まで行けなかった男子の分もと、居残り主将・宮寄のリーダーシップのもと祝杯があげられました。(辻井 浩志)</p>
S58	<p>この年のインカレは9月29日から10月1日までの4日間の日程で神奈川県富岡総合公園弓道場において行われた。ダブルラウンドを4日間で行う当時の世界大会やオリンピックと同じ日程で行われた唯一のインカレである。同志社からは、男子は山下敏之、木下昌久、今井一人、女子は奥田典子、樋口ますみが出場した。結果は奥田典子が優勝、樋口ますみが2位であった。女子は、春に1回生が入部するまで部員5名と部員不足に悩んだ。</p> <p>リーグ戦は、男子は同志社、追大、大工大の3校がブロック戦4勝1敗で並ぶ中でのブロック優勝決定戦に頭を丸めて臨み、激戦を抜け出し近大と対戦したが、敗れてリーグ2位、女子は、全勝でブロック戦を勝ちあがり、王座2連覇を目指して関西外大戦に臨んだが、残念ながら敗れてリーグ2位であった。</p> <p>その他、京都のアーチェリー界では、サンウッドアーチェリーレンジがオープンし、主将の森田徳雄もオープンセレモニーで祝辞を述べさせていただいた。</p> <p>4回生の夏に、現役の夏合宿の陣中見舞いをかねて出かけた卒業旅行が思い出深い。(藤井 典子)</p>
S59	創立 25 周年記念式典(11 月 25 日京都国際会館)
S60	
S61	<p>田辺レンジへ移転</p> <p>男子はリーグ戦でブロック優勝するも決勝で近大に敗れ2位。女子は関西リーグ優勝も西日本大会で敗退し王座戦進出ならず。1986年(S61年)4月田辺校地開校に伴</p>

	<p>い、田辺レンジの設計が始まる。</p> <p>ちょうど幹部学年となった1985年5月頃から、新しい田辺レンジの検討が始まり、大学の「現状維持」という基本方針の中で、少しでも充実した施設をと当時の松山部長先生やOB会役員の皆様のご協力も得て、大学側と交渉を進めさせていただきました。</p> <p>ある日、大学学生課に呼ばれ明日までにレンジだけでなく巻きわらを置く台や部室などを含めたすべての図面を提出するよう言われ徹夜で図面を書き、寝る間もなくそのまま翌朝当時の日比野監督の会社で打合せをして学生課に提出したこともありましたが、（実際には1年上の主務の方が学生課から依頼を受けておられたようですが、なぜかそのままになっていたようで…。）</p> <p>田辺レンジは2年後の1988年に部室の窓や棚の位置や大きさまでその図面どおりに完成し、実際に我々がそこで練習をすることはありませんでしたが、現在まで多くのOB・OGの皆さんの思い出の地となっていることと思います。これからもこの田辺レンジで多くの学生が汗を流し、素晴らしい結果を残してくれることを願うばかりです。 (山下 泰生)</p>
S62	<p>岩倉から田辺レンジへ移った年でした。女子は近大の壁を崩せず関西2位。男子はグループ優勝はおろか、ぎりぎりのところでの1部残留、厳しい記憶が今でも残っています。しかしながら、これらも社会で生きていく上での貴重な経験として、皆の心に根付いていることと思います。 (井口 素孝)</p>
S63	<p>昭和最後の年。リーグ戦は同志社、阪大、神大での3校三つ巴での4位以下順位決定戦。結果、4位となる。 (河内 和弥)</p>
H1	<p>創立30周年記念式典(12月3日京都国際ホテル)</p> <p>我々の学年は、1回生当初は岩倉レンジ、同年秋に田辺レンジに引っ越しました。また、同年夏の関個では、男子は予選突破者がゼロの結果に終わり、男子部員全員が丸坊主になったことが懐かしいです。</p> <p>3回生次の東京遠征中の夜間に、渋谷の宿泊先で堀先輩(S63卒：技術担当で、アーチェリー初心者であった我々が大変お世話になった方)の訃報が入り、ロビーに遠征メンバー全員を集めて黙祷し冥福をお祈りすると共に、「自分たちも明日どうなるかなんて誰にも分からない。今、この瞬間を精一杯生きよう。」と涙ながらに話しました。解散後、幹部間で堀先輩の思い出話をしながら、「堀さんの分も頑張って生きよう」と話し合ったことが忘れられません。 (井上 知也)</p>
H2	<p>30周年式典を開催(1989年・平成元年)幹部交代の後だったと記憶していますので、秋口の開催だと思います。第30代主将・有坂さん(4回生)と一緒に登壇して、約200名の来賓・OB・現役の前でスピーチさせていただきました。 (平田 匡彦)</p>
H3	
H4	<p>女子王座獲得(10年ぶり6回目)</p> <p>秋の定期戦でチームの不振が続いていたとき、東監督のアドバイスを受けて男子チーム全員で皇子山公園で宴会をしたことが思い出されます。幹部はほぼ皆つぶれていたように思います。若かったなあと懐かしい思い出です。 (北川 充彦)</p>
H5	<p>男女関西リーグブロック優勝。バブルが少しずつ崩れかけてきた時代、個性の強い先輩方のもと賑やかに日々練習に励んでいたと思います。幹部学年のとき、男子リーグ戦では阪大と一桁点数差で競り勝ち、結果全勝でブロック優勝を遂げたこと、先輩方と皇子山公園でラグビー観戦の後、昼間から酔いつぶれたことなどが強烈な印象として残っています。また、清里(山梨県)での夏合宿は毎年しんどかったけど、楽しかった！ですね。 (石田 徹)</p>
H6	<p>創立35周年記念式典(12月4日京都国際ホテル)</p>

H7	
H8	
H9	<p>ノンエリートの個性派集団！おサルさんからイケメンまで、色々な個性が集まった学年でした。様々な苦勞を乗り越え最後には、橋〇コーチの家の襖を酔っ払って蹴破るまで成長できました。決して強い学年ではなかったけれど、良いスタッフ、良い先輩、良い後輩、良い同期に囲まれ、素晴らしい経験ができたと思っています。</p> <p style="text-align: right;">(真島 健太)</p>
H10	<p>50年の歴史の中で唯一（かどうかは、分かりませんが）1期下が一人も残らなかったため、下っ端を2年間務めた学年で、勧誘には非常に苦勞しました。全員が高校アーチェリー経験者で日本代表経験者や京都の国体主力選手を擁する女性陣と初心者中心でアーチェリー以外に割と熱心だった男性陣とで、ややばらついていて我々でしたが、幹部になるころには、主将・女子リを中心に自然とまとまっていったと記憶しています。</p> <p>リーグ戦では、近大が王座で男子V12、女子V4と躍進を続けている最中で、男子は近大の尻尾をつかむことさえ難しかったのですが、女子は、京大との順位決定戦で惜敗を喫し、シーズンの最後を終えたことが、ついこの前のことのように思い出されます。</p> <p>個人的には田辺での春合宿後の飲み会で急性アル中となった後輩M君を病院に運び（飲ませていません。くれぐれも。）迎えにきてくださった親御さんにこっぴどく叱られた後、主将清水の部屋で、主務梅田がしんみりとギターで奏でてくれたExtremeの”More than words”が忘れられません。そんな梅さん、今どこにいますでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(菰野 祥子)</p>
H11	<p>創立40周年記念式典(11月14日京都タワーホテル)</p> <p>50年の歴史の中で唯一、2年間幹部を務めた学年です。男子にはセレクションがおらず、女子は出場人数7名を下回ることもあり、部員数も少なく手探りでクラブ運営でした。また、橋本監督も就任1年目と2年目でしたので、まさに初めてづくしの代だったと思います。</p> <p style="text-align: right;">(倉富 有佳里)</p>
H13	<p>リーグ戦にて男子が2部落ち。これまでの歴史を作ってこられた先輩の皆様には申し訳ありませんでした。当時、幹部が男子4名、女子2名の6名と少人数の中、当時の部員達は直前まで必死に努力をしましたが力及びませんでした。ですが、当時の他の代を含むメンバーのマインドや実際の練習や努力、雰囲気は他の代に劣るものではなかったと思います。我々の代の技術力と運営の問題でした。今の皆さんの活躍を心より喜んでおり陰ながら応援しております。何か手伝えることがあればいつでも連絡下さい。</p> <p style="text-align: right;">(青野 正道)</p>
H14	
H15	<p>同志社大学アーチェリー部の、厳しい時代だったと思います。</p> <p>高校からの経験者が少ない中で、少しずつセレクションが増え始め、そのレベルの格差が大きい中で、いかにまとまるか試行錯誤していました。</p> <p>私たちの学年はその象徴であったと思います。意見がぶつかることが多く、下の学年にも迷惑をかけたかと思っています。でも、その分たくさん話し合いの時間、考える時間を持ち、本当に成長した学年であったことは確信しています。</p> <p>勝負の結果は残せなかったかもしれないですが、それぞれの成長に、そして後輩たちの未来につながる良い時間を過ごせた時間でした。</p> <p style="text-align: right;">(山田 朝子)</p>
H16	<p>創立45周年記念式典(11月28日京都タワーホテル)</p> <p>自他共に認める仲の良い幹部学年でした。今でも事がある度に皆で集まり、学生時代とかわらずグダグダと酒を酌み交わしております。幹部学年としてたいした成績は残せませんでした。アーチェリー部を通して生涯の良き友を得られた事を感謝</p>

	しております。 (中嶋 剛大)
H17	<p>女子王座獲得(13年ぶり7回目)</p> <p>アーチェリー教室を始める、地域の子供達を集め交流を深めると共に同志社アーチェリーを地域にアピール。</p> <p>私達第46代(上野、清水、末陰、中野、藤井、本内)の年では、王座の試合形式がシングルから70mのオリンピックラウンドの団体戦になり、出場校数の変更がありました。王座へはリーグ戦で3位までのチームが出場出来るようになりました。男子はリーグ戦でブロック優勝はしましたが、優勝決定戦で近畿大学に大差を付けられ惨敗しリーグ戦2位となりましたが力の差を痛感した試合でした。女子はブロック2位になり3位決定戦で勝利し、男女共王座への出場権を獲得しました。</p> <p>王座は駒沢で行われ、男子は準々決勝で敗退し、5位となりました。女子においては、世界選手権代表の林勇気(当時三回生)を率いる同志社が近大と日体を破り、見事優勝し王座を奪取しました。私達の代の部員総数は20数名と少数でしたが、王座出場、そして女子においては王座獲得と大変素晴らしい充実したクラブ生活を送ることが出来ました。(藤井 康史)</p>
H18	<p>男子王座獲得(28年ぶり5回目)</p> <p>女子準優勝(林 勇気)</p> <p>まずは主将の大槻君。高校からアーチェリーを始め、細身に長髪で矢を射る姿にどれほどの女の子が胸をときめかせたことか…しかし大学に入るや、とにかくよく食べる。見事太っちょの仲間入りです。しかし、アーチェリーに対する思いは人一倍あり、時に厳しく、時に優しく指導をし、先輩後輩問わず愛されるキャラクターでした。チャレンジ精神旺盛、悪く言えば飽きっぽい性格です。現在はトライアスロンでまたもや美男子に!?</p> <p>続いては学連の星、パオこと中尾君です。THE適当人間で、バカ話をするなら彼が一番おすすめです。でも、自分というものをしっかりもっている人物で、酒を飲み熱く語り合った夜もありました。セレクション組と大学から始めた組との懸け橋にもなってくれました。学連・就職活動中と、常にビシッとした服装でレンジに上がってきたのを覚えています、それ以上にヘコヘコした走り方が忘れられません。</p> <p>団長こと会計植村君は、唯一卒業まで残った、大学からアーチェリーを始めた漢です。そのあだ名のおり熱血硬派な人物で、多くは語らず、「俺の背中を見て育て」という指導方針でした。クールガイですが、ちょっぴり照れ屋な彼は、後輩からもよくいじられていました。アーチェリーについても常に冷静に判断し、研究を重ねて、みんなからもアドバイスをもらっていて、本当に頭が下がりました。</p> <p>さて、うちの代紅一点といえば林勇気ちゃんです。『男4、女1』という数字だけを見た方々は果たして女の子1人という状況について、ハーレムと思われるか、1人がかawaiiそうと思われるかわかりませんが、事実は「女帝時代」となりました。アーチェリーも勉強も常に一生懸命、実家の兵庫県から文句も言わず通学し、まさにパーフェクトガールでした。一度同期全員で林家に遊びに行きましたが、お嬢様チックな家で、ごちそうが出てきたりしました。スペアリブおいしかったです。彼女の声には誰もがびくつき、同期はまさに召使いでした。1人で女子部員をまとめるのは大変だったと思いますが、辛さをバネにして、頑張っていました。</p> <p>最後になりましたが、本日残念ながら仕事のため参加できない南ですが、謝ることでだらけです。女子高生に手をだしてしまいごめんなさい。</p> <p>練習でも日常生活でも5人全員仲良し、少ないからこそ団結力が高まり、リーダーとなって頑張っていました、OBOGや先輩からお助けいただき、また良き後輩に</p>

	<p>恵まれたからこそ笑顔で卒業できたのだと思います。飲み会大好き！カラオケ大好き！！ (南 和則)</p>
H19	<p>王座2連覇を目指すのが、5位に終わる 我々、48代の4年間は波乱に満ちた？4年間でした。入学当初は男子、セレクション2人を含む経験者4人。女子、セレクション1人を含む3人の計7人でのスタートでした。途中男子の2人が学業の理由から退部、その後2人が途中入部、内一人もまた、学業の理由から退部。最終的には男子3人、女子3人のメンバーでした。初めてのリーグ戦では雨の中、相手の雰囲気にもまれ、自分達のプレーが出来ず団体戦の難しさを思い知らされる結果となりました。 しかし、その敗北から声出しの必要性やチームプレーを重んじるようになり、着実にチームが成長していくのを感じることができました。その変化が一番感じていたのが我々の回生だったかもしれません。次の年も、その次の年も、今でも年を重ねるごとに雰囲気やチームの勢いが増しているのは、当時チームを変えようと努力してくださった先輩方のおかげであると思います。 我々の前代が近畿大学から王座を奪還。幹部になった我々は2連覇を目指すも、その年5位に終わる。後日談としては、一部のOBから2連覇すればキャバクラへ連れてもらえるという話があり、全員がそれを知っていれば2連覇出来たのでは！？という話も…笑 この回生の功労者と言えば、白鳥が挙げられます。白鳥は多くの問題を含む女子をまとめ、女子リーダー兼主務という激務の中、チームとクラブを支えてくれました。クラブが円滑に回り、次の代に繋ぐことが出来たのも白鳥のおかげといっても良いでしょう。特に輝かしい戦績のない代ですが、人数も少ない分濃い4年間を過ごさせていただきました。 (西川 良平)</p>
H20	<p>第49代幹部は、男子2人・女子3人の計5名。『少数精鋭』の後輩時代を過ごしてきましたが、気がつけば50人もの後輩たちが私たち幹部について来てくれました。 小川直毅【おが】——主将・会計・競技運営・技術 柳田直人【やな】——主務・副将・トレーナー 南 知里【ちい】——女子リーダー・学連・技術 寺本美幸【もてい】——OB 渉外・京府 角田夕佳【だぁ】——競技運営・トレーナー・普及 この代は、幹部役職についてかなり早い時期から「主将はおがやなあ！」「主務はやな！」「女子リはちい or だあかな～誰がなってもタイプ違うなあ」「もていはOB 渉外っぽい！」と、幹部が決めてくれる内容について盛り上がっていました。 【チャリ爆走、酒≡ガソリン、仮装3回、寺バイト、チョンボ最強、シャクレンボ】 この言葉を口にすれば、ほら49代の頭の中にはステキな思い出が・・・(笑)アホやって、ケンカして、時に涙して・・・それぞれ性格は違うけど、やっぱりアーチェリーに懸ける情熱は熱かった。出来れば次の50周年も、このメンバーで一緒に迎えましょう。 (角田 夕佳)</p>
H21	<p>18人18色。しかも1色1色がかなり濃い色、それが私達第50代です。 1回生の時に王座優勝を経験し、アーチェリーで結果を求めるのはもちろん、クラブ三原則の徹底を始めとする「社会人の為の予備校」を目指して、クラブの運営を行いました。部活だけでなく、全員が酔い潰れるまで飲み合ったり、鍋を囲んだり…と長い時間を共に過ごし、大切な友人に巡り会えた事は時代で1番の思い出です。現在、社会人1年生。今はそれぞれの場所でアーチェリー部での経験を活かし、皆頑張っています。 (福田 圭宏)</p>
H22	<p>創立 50 周年記念式典(7 月 10 日グランドプリンスホテル京都)</p>

歴代役職一覽

卒業年	部長先生	監督	助監督	コーチ	主将	副将	主務	女子リガー	トレーナー	技術 スコアラー	会計	OB 渉外 女子マネ	全日学連	関西学連	競技運営	その他
S36					中川 令郎											
S37					竹内 彦博		石村 昌則									
S38					金原 善一	坂本 尚彦	水谷 威男		渡辺 一雄	木本 潤二				委員長 磯淵 統一		
S39	宮崎 郁司	金子和太郎			森山 昭一	山口 隆司	加納 義男		加藤 道武							
S40	宮崎 郁司	金子和太郎			藤井 史郎	梅沢 浩和	新居 正規	戎谷 尚子 (旧姓三輪)	吉村 寛					競技運営委員長 北田 坦 副委員長 足利 義雄		
S41	宮崎 郁司	金子和太郎		中川 令郎	岡田 良信	東海 宏三	濱 直樹	鷺頭美紀子 (旧姓福田)	東口 信夫					委員長 角谷 隆造		
S42	宮崎 郁司	金子和太郎			山崎 芳一	白川 雅則 難波 照征	小林 秀樹	小林 侑希子 (旧姓 坂脇初子)	細川 元			新居三規人 (旧名恒男)		副委員長 井上 正人 難波美智子 (旧姓吉見)		
S43	宮崎 郁司	金子和太郎			成瀬 一範	蒔田 諭 竹岡 進	阪本 克博	児玉 信子	大野 宏				藤井 郁郎	委員長 蒔田 諭		
S44	宮崎 郁司	金子和太郎			藤好 洋	塚本 耕二 競 憲一	井田 廣	河合 雅代 (旧姓横田)	競 憲一				宮川 達男	中沢 徹		体育会本部 大谷 清司
S45	宮崎 郁司	金子和太郎		竹岡 進	三谷 寛	宮川 達男	堀場 功郎	津久間佳子	馬淵 章二	米井 康雄				副委員長 板倉 保郎		
S46	宮崎 郁司	金子和太郎		竹岡 進	松沢 喜代司	竹内 正明 高木 洋一 上川 正	日野 信行 西谷 禎夫	塚本 廣子 (旧姓小林)	上川 正 折田 博子 (旧姓北川)			副務 西谷 禎夫	依田 和光	副委員長 林 俊平		
S47	宮崎 郁司	金子和太郎		竹岡 進	西谷 禎夫	三上 修	長底 利剛	中川 純子 (旧姓 林)	久永 彰 谷 英美世 (旧姓菱田)				榎戸 道夫	松下 憲二		
S48	宮崎 郁司	森山 昭一		塚本 耕二	沢野 樹義	岩田 一	金崎 正明	飛田 洋介 (旧名陽右)	岡田 徳明	日比野正嗣			委員長 古嶋 希有 (旧名重和)	技術委員長 大西 義貞		
S49	宮崎 郁司	森山 昭一		塚本 耕二	白石 忠信	木村 和彦	板津 正博	白石 恵子 (旧姓加藤)	葛西 裕治	澤田 洋一			南 繁明	葛西 裕治		
S50	宮崎 郁司	宮川 達男		日比野正嗣	青山 淳	梅村 豊	亀井 邦彦	田川真佐江 (旧姓川北)	木村 佳司					藤生 拓史	杉藤 博一	
S51	宮崎 郁司	宮川 達男		日比野正嗣	藤林 弘資	岡田 安可	東 和徳	岡田真理子 (旧姓竹本)	西浦 康雄						委員長 桜井 英一	
S52	宮崎 郁司	宮川 達男		日比野正嗣 亀井 邦彦	野村 耕司	豆田 勝彦 築柴 邦英	田中 稔章	吉見 通子 (旧姓中島)	豆田 勝彦 篠原 智恵 (旧姓 中山)	佐々木淳二 植松 孝俊				競技運営委員長 築柴 邦英		
S53	宮崎 郁司	日比野正嗣		亀井 邦彦	渡辺 雅典	山下 征宏	竹内 啓明	東 隆子 (旧姓川田)	渡辺 雅典							
S54	宮崎 郁司	日比野正嗣		亀井 邦彦	辻岡 整	老岐尾英治	二村 敏広	阿知波由理 (旧名 後藤有理子)	谷脇 久憲	道永 宏				記録委員長 安藤 克之		顧問 河内敬雄
S55	宮崎 郁司	日比野正嗣		亀井 邦彦 河内 敬雄	伊東 弘之	本郷 邦彦 (旧姓 岸)	永井 深	太田 紀子 (旧姓田中)	太田 雅直 泉 美津恵 (旧姓山田)	川西 充	江田 忠司	女子マネ 徳井香代子 (旧姓金谷)		技術委員長 森川 勉 書記委員長 倉貫 正弘 (旧姓山田)	本郷 邦彦 (旧姓岸) 泉 美津恵 (旧姓山田)	
S56	松山 義則	日比野正嗣		河内 敬雄 阿知波由理 (旧姓後藤)	村上 雅之	川村 真康	上田 隆司	元山 敬子 (旧姓田中)	小川 剛 村上 良子 (旧姓円月)	木村 英夫 スプアー 浦宗 秀和	山口 元	女子マネ 才川 茂子 (旧姓佐藤)	寺澤 良子 (旧姓原田)	書記委員長 栗原右吉郎		
S57	松山 義則	河内 敬雄			仲谷 晃	田中 勝久 (旧姓吉副)	孝橋 秀生	吉田 由喜 (旧姓川上)	仲谷 晃 俣野 順子	松岡 高史 守家眞喜子 (旧姓 西) 神出 隆司	能祖 知聡 (旧姓国村)	女子マネ 宇野 珠美 (旧姓伊達)		競技運営委員長 山田 敏晴		
S58	松山 義則	河内 敬雄			宮崎 潤	藤野 実	林原 彰男	西野 真弓 (旧姓畑中)	沼野 利和 中原 陽子 (旧姓西田)	三木 誠 野上 寛子 (旧姓中川)	住友 哲二	女子マネ 村上さつき		書記委員長 辻井 浩志		
S59	松山 義則	河内 敬雄		森山 昭一 道永 宏 倉貫 正弘 上田 隆司	森田 徳雄	山下 敏之	川村 太郎	藤井 典子 (旧姓奥田)	木下 昌久		大橋 正長	女子マネ 物井由紀子 内務 稲垣 克彦		記録委員長 大野 雅司		体育会本部 鷹取 宏
S60	松山 義則	河内 敬雄		森山 昭一 倉貫 正弘 上田 隆司	村田 裕樹	今井 一人	小嶋 良一	越科 美華 (旧姓吉川)		加藤 晴康	高沢 直人			財務委員長 高際 俊一		
S61	松山 義則	日比野正嗣	濱 直樹	森山 昭一 河内 敬雄 倉貫 正弘	高橋 浩孝	玉井 康	高松 弘和	高田 志保 (旧姓有田)	中谷 吉博 粕淵 ますみ (旧姓 樋口)	高橋 宣裕 スプアー 藤田 栄作	高田 幸士	藤岡 義洋		競技運営委員長 羽原 俊哉		
S62	松山 義則	日比野正嗣	濱 直樹	東 和徳 道永 宏 倉貫 正弘 藤井 典子 (旧姓奥田)	佐々木 智雄	村松 直樹	山下 泰生	仲本 加恵 (旧姓松島)	白井 勲 中嶋 豊子 (旧姓山岸)	村松 直樹 スプアー 藪谷 泰彦		女子マネ 正崎 真由美 (旧姓岩田)		副委員長 小林 道治		
S63	松山 義則	日比野正嗣	濱 直樹	東 和徳 倉貫 正弘 辻井 浩志	西川 博也	井口 素孝	馬場 英典	岩波ひろみ	西村 明	堀 重治				副委員長 裨田 昇		
H1	松山 義則	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣 河内 敬雄 倉貫 正弘 仲本 加恵 (旧姓松島)	河内 和弥	渡辺 勉	橋本 直人	市川 陽子 (旧姓古賀)	矢追 明昌	山崎 岳信 藤井 昭彦 谷口 知子 (旧姓西村) スプアー 高木 博文		女子マネ 長塚 恵美 (旧姓石倉)	松田 史	三善 徹		

卒業年	部長先生	監督	助監督	コーチ	主将	副将	主務	女子リガー	トレーナー	技術 スコアラー	会計	OB 渉外 女子マネ	全日学連	関西学連	競技運営	その他
H2	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣 河内 敬雄 倉貫 正弘	有坂 哲郎	高杉 友朗	井上 知也	神村 文枝 (旧姓中野)	村上 正嗣	山本 宏之 (旧名浩之)				委員長 高杉 友朗		
H3	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣	平田 匡彦	平井 利明	福永 浩久	山口 裕子	辰巳 裕一 妻鹿有佑子 (旧名 田中有子)	濱 充 南野希旬代 (旧姓伊東) スコアラー 渡木 洋	高田 晃	女子マネ 辻本美奈子 (旧姓齋藤)	矢野希善英			
H4	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹		杉山 幸司	西村 文一	斉川 誠	土肥 直子 (旧姓寺島)	北山 太志 小杉友希子 (旧姓栗津)	杉山 幸司 松田真由美 (旧姓松宮)		女子マネ 梅谷 美華		委員長 西村 文一 山村 真里		
H5	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣 橋本 直人	新谷 唯	上西 征直	北川 充彦	高橋 珠世 (旧姓 岡)	辻井 憲佳	尾原 大三	中田 頼宏			矢島 航		
H6	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣 橋本 直人	曾谷 幸一	坂田 実	末永 一真	川北賀世子 (旧姓達富)	松浦 圭来					委員長 南畑 志志	林 博史	体育会本部 南 和秀
H7	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣 橋本 直人 平田 匡彦 山口 裕子	森山 史郎	辻林 和哉	芦部 智也	平川 香里 (旧姓棚田)	久保見大祐	山本雅也 スコアラー 鈴木裕子	鈴木裕子	木下 善隆	石崎 善泰	管財委員長 居関 雅昭		
H8	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 日比野正嗣 橋本 直人 平田 匡彦 山口 裕子	平尾 彰浩	菊井 雅志	中務 勝行	井口 恭子 (旧姓松久)	福谷 智晴	富田 博之		田中 直 富士 礼子		植村 武史	田中 豊	
H9	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	森山 昭一 橋本 直人	駒井 祥人	江坂 拓南	上田 篤史	四方 友理 (旧姓藤村)	村上裕丈 馬場理子	田口 義美 (旧姓角田)	川瀬 敬義	馬場 理子 女子マネ 河合恵利子 (旧姓本庄)		管財委員長 厚庄 治則	児玉 卓也 田口 義美 (旧姓角田)	
H10	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	橋本 直人	井上 直人	花田 佳明	佐山 朋之	高地 美和 (旧姓中澤)	明地 将一 藤島 公華 (旧姓渡部)	池原 隆太 真島 健太	松本 将矢	村田 浩一 佐野 治		川中 寿宏	小柳 正之 國政 恭子 (旧姓徳福)	
H11	鈴木 直人	橋本 直人	濱 直樹	河内 和弥 谷口 知子 辰巳 裕一 森山 史郎 駒井 祥人	井口 利之 (旧姓清水)	東谷 昭秀	梅田 郷	伊藤美由紀 (旧姓 柳生)	北川 哲也 八木かおり	井口 利之 (旧姓清水) 佐山佳奈子 (旧姓飯島) スコアラー 岩本 武司	北川 哲也	菟野 祥子	東谷昭秀	谷口真一	岩本 純深 (旧姓内山)	京都府連 佐山佳奈子 (旧姓飯島)
H13	鈴木 直人	橋本 直人	濱 直樹	河内 和弥 谷口 知子 辰巳 裕一 森山 史郎 駒井 祥人	村木 直	村岡 廣隆	植田 観肇 (旧名 倫弘)	村木 絵里奈 (旧姓上原)	村木 直 武井 峰子 (旧姓足立)	池田 政光 倉富佳里 スコアラー 元岡 宗紀	外園裕美子 (旧姓外間)		委員長 中嶋 隆二	財務委員長 高橋 一雄	日名内 健 武井 峰子 (旧姓足立)	京都府連 村木絵里奈 (旧姓上原)
H14	鈴木 直人	橋本 直人	濱 直樹	池原 隆太 真島 健太	青野 正道	武本 泰幸	武本 泰幸	大湊 育美	青野 正道 今崎扶美子 (旧姓 林)		今崎 匡裕	今崎扶美子 (旧姓 林)		記録委員長 小林 智史	今崎 匡裕	
H15	鈴木 直人	橋本 直人	濱 直樹		新井 啓人	山中 英樹		岡田 康代 (旧姓 高山)						坂井 良平		
H16	鈴木 直人	東 和徳	濱 直樹	山下 泰生 谷 直樹 真島 健太 71'バ'イ'- 溪 充	吉川 悦郎	辻井 康人 安東 良子	瀬戸口 義人	山路 陽子	吉川 悦郎 山田 朝子	山田 朝子 吉川 悦郎 スコアラー 瀬戸口義人	佐野 豪彦	松島 法子	辻井 康人	財務委員長 西本 尚夫		
H17	鈴木 直人	東 和徳	橋本直人	倉貫 正弘 山下 泰生 谷 直樹 池原 隆太 真島 健太 71'バ'イ'- 日比野正嗣 溪 充	小林 武史	山崎 泰佑	中嶋 剛大	塩田 佳苗	山崎 泰佑 塩田 佳苗	山崎 泰佑 浦田由佳子	山本 司	上野麻実	森 香菜絵	副委員長 藤田 耕平	森 香菜絵 藤田 耕平	
H18	鈴木 直人	東 和徳	橋本直人	倉貫 正弘 山下 泰生 谷 直樹 真島 健太	藤井 康史	清水 洋兵	上野 百百子	末陰 章奈	藤井 康史 上野 百百子		中野 裕之	本内絵美子		末陰 章奈		
H19	鈴木 直人	東 和徳	橋本直人	倉貫 正弘 谷 直樹 真島 健太	大槻 融	南 和則	南 和則	林 勇気	南 和則 林 勇気	大槻 融 林 勇気	植村 晋二	大槻 融		副委員長 中尾 秀平	植村 晋二 林 勇気	京都府連 大槻 融
H20	鈴木 直人	東 和徳	橋本直人	倉貫 正弘 林 勇気	西川 良平	遠藤 元	白鳥 幸子	白鳥 幸子	伊藤 拓也 津田 真子	遠藤 元 谷口枝璃子	遠藤 元	西川 良平		津田 真子	伊藤 拓也	京都府連 谷口枝璃子
H21	鈴木 直人	東 和徳	橋本直人	倉貫 正弘 山田 朝子 林 勇気	小川 直毅	柳田 直人	柳田 直人	南 知里	柳田 直人 角田 夕佳			寺本 美幸		南 知里		
H22	鈴木 直人	東 和徳	橋本直人	倉貫 正弘 山田 朝子 林 勇気	福田 圭宏	宮下 朋幸	上山 友裕	西川 祐未	古川 博康 藤吉 彩乃	高橋 淳 濱田 紘代 スコアラー 岡部 有佑 黒田 麻祥	抱 佑樹	古市 将也		委員長 石山 純平	木下 翔平 佐々木晴香	IP 管理 山下 隆豪
現役 H23	鈴木 直人	道永 宏		山田 朝子 上野百百子 清水 洋兵 末蔭 章奈 藤井 康史 林 勇気 古川 博康	金村 賢	中川 貴志	平松 辰梧	坂本いつか	中川 貴志 松本 千晶	金村 賢 青山絵美子 スコアラー 石田 尚吾 田中 亮平	中川 貴志	黒木 洋平		松本 千晶	青山絵美子	京都府連 政所あすか

名誉部長 松山 義則先生 平成2年～

名誉部長 宮崎 郁司先生 昭和56年～

名誉監督 金子和太郎様 昭和48年～

歴代在籍者名簿

S36 中川令郎
 S37 石村昌則
 竹内彦博
 S38 磯淵紘一
 上河建治
 金原善一
 齋田六史郎
 酒井英輔
 野村 毅
 水谷威男
 渡辺一雄
 木本潤二 物故者
 坂本尚彦 物故者
 S39 加藤道武
 加納義男
 森山昭一
 山口隆司
 S40 足利義雄
 新居正規 旧名 康弘
 奥 直樹
 加藤 陽
 北田 坦
 実積英機
 田中唯剛
 西川彰二
 藤井史郎
 松島 朗
 馬淵武昭
 吉村 寛
 陸橋高之 旧名 陸国進
 戎谷尚子 旧姓 三輪
 西山佳世子 旧姓 有本
 安本瑞枝
 今西基之 物故者
 梅沢浩和 物故者
 S41 稲森隆生
 上松康治
 岡田良信
 角谷隆造
 鈴木勝次 旧名 勝士
 瀧 正雄

S41 武田 丈
 津田恒价
 濱 直樹
 東口信夫
 堀口昌之助
 松田紘一
 松本 勝
 山田忠英
 桜田洋子 旧姓 釜江
 御法川富美 旧姓 石田
 鷲頭美紀子 旧姓 福田
 谷口文夫 物故者
 東海宏三 物故者
 徳永義博 旧名 能弘
 物故者
 S42 新居三規人 旧名 恒男
 井上正人
 北井利英
 国本欣昭
 窪田章男
 小林秀樹
 阪口卯一
 白川雅則
 高垣 勸
 難波照征
 西内紘一
 細川 元
 俣野慶直 旧名 直之
 山口喜之
 山崎芳一
 大野公子
 小林侑希子 旧姓
 阪脇初子
 岡本正明 物故者
 難波美智子 旧姓 吉見
 物故者
 S43 大野 宏
 阪本克博
 竹岡 進
 成瀬一範
 藤井郁郎
 蒔田 諭

S43 児玉信子
 松本晃一 物故者
 S44 飯塚陽一
 井田 廣
 大谷清司
 競 憲一
 近藤 孝
 塚本耕二
 中沢 徹
 西村武志
 番 隆三郎
 藤好 洋
 河合雅代 旧姓 横田
 S45 赤沢道博
 板倉保郎
 大亀峰継
 奧林秀晃
 東浦靖夫
 堀場功郎
 馬淵章二
 三谷 寛
 宮川達男
 米井康雄
 菊池崇子 旧姓 大倉
 津久間佳子
 森川郁子 旧姓 前田
 S46 上川 正
 小山泰男
 高木洋一
 竹内正明
 西岡幸輝
 西田好孝
 林 俊平
 日野信行
 松沢喜代司
 山本隆信
 依田和光
 折田博子 旧姓 北川
 塚本廣子 旧姓 小林
 S47 榎戸道夫
 長底利剛

S47	中西純一 西谷禎夫 久永 彰 松下憲二 三上 修 谷芙美世 旧姓 菱田 中川純子 旧姓 林	S51	山口泰弘 池邑順子 旧姓 岡田 伊藤裕子 岡田真理子 旧姓 竹本 岡本敬子 旧姓 岩崎 田中郁子	S56	村上雅之 山口 元 才川茂子 旧姓 佐藤 寺澤良子 旧姓 原田 村上良子 旧姓 円月 元山敬子 旧姓 田中 川村真康 物故者
S48	岩田 一 大西義貞 岡田徳明 金崎正明 澤野樹義 飛田洋介 旧名 陽右 日比野正嗣 古嶋希有 旧名 重和	S52	植松孝俊 佐々木淳二 田中稔章 築柴邦英 野村耕司 豆田勝彦 篠原智恵 旧姓 中山 吉見通子 旧姓 中島	S57	神出隆司 孝橋秀生 田中勝久 旧姓 吉副 仲谷 晃 松岡高史 宇野珠美 旧姓 伊達 能祖知聡 旧姓 国村 俣野順子 守家眞喜子 旧姓 西 吉田由喜 旧姓 川上 山田敏晴 物故者
S49	板津正博 葛西裕治 加藤俊則 北村晃一郎 木村和彦 栗田彰夫 澤田洋一 白石忠信 野村 徹 南 繁明 金崎恵美子 旧姓 磯田 木村富美子 旧姓 岡田 桜庭玲子 旧姓 岡村 白石恵子 旧姓 加藤	S53	竹内啓明 渡辺雅典 東 隆子 旧姓 川田 平石慶子 旧姓 平松 山下征宏 物故者	S58	住友哲二 辻井浩志 沼野利和 林原彰男 藤野 実 三木 誠 宮寄 潤 中原陽子 旧姓 西田 西野真弓 旧姓 畑中 野上寛子 旧姓 中川 村上さつき
S50	青山 淳 梅村 豊 亀井邦彦 木村佳司 杉藤博一 藤生拓史 田川真佐江 旧姓 川北	S54	安藤克之 壺岐尾英治 河内敬雄 谷脇久憲 辻岡 整 二村敏広 道永 宏 阿知波由理 旧名 後藤有理子	S59	稲垣克彦 大野雅司 大橋正長 川村太郎 木下昌久 鷹取 宏 森田徳雄 山下敏之 藤井典子 旧姓 奥田 物井由紀子
S51	東 和徳 旧姓 大久保 伊藤孝二 旧姓 大久保 岡田安可 桜井英一 大門干晃 西浦康雄 長谷川隆昭 藤林弘資	S55	伊東弘之 太田雅宣 川西 充 倉貫正弘 永井 潔 本郷邦彦 旧姓 岸 森川 勉 泉 美津恵 旧姓 山田 太田紀子 旧姓 田中 徳井香代子 旧姓 金谷 江田忠司 物故者	S60	今井一人 加藤晴康 小嶋良一 高際俊一 高沢直人

S60	村田裕樹 越科美華 旧姓 吉川	H2	井上知也 高杉友朗 村上正嗣 山本宏之 旧名 浩之 神村文枝 旧姓 中野	H5	矢島 航 夕田 慶 荻野京子 旧姓 神谷 高橋珠世 旧姓 岡
S61	高田幸士 高橋浩孝 高橋宣裕 高松弘和 玉井 康 中谷吉博 羽原俊哉 藤岡義洋 藤田栄作 粕渕ますみ 旧姓 樋口 高田志保 旧姓 有田	H3	岩崎晃孝 岡島秋男 高田 晃 竹原健一 辰巳裕一 溪 充 平井利明 平田匡彦 福永浩久 森地弘明 矢野希誉英 渡木 洋 辻本美奈子 旧姓 斎藤 南野希句代 旧姓 伊東 妻鹿有佑子 旧名 田中有子	H6	石田 徹 伊藤彰規 合田和博 坂田 実 末永一真 曾谷幸一 武谷浩之 松浦圭来 南 和秀 南畑圭志 伊藤美代子 旧姓 小山 川北賀世子 旧姓 達富 野島聡子 旧姓 谷口 平尾幸子
S62	小林道治 佐々木智雄 白井 勲 露谷泰彦 村松直樹 山下泰生 正崎真由美 旧姓 岩田 中嶋豊子 旧姓 山岸 仲本加恵 旧姓 松島	H4	山口裕子 北山太志 斎川 誠 杉山幸司 西村文一 岡崎美華 旧姓 梅谷 小杉友希子 旧姓 栗津 土肥直子 旧姓 寺島 松田真由美 旧姓 松宮	H7	芦部智也 石崎善泰 居関雅昭 木下喜隆 久保見大祐 辻林和哉 林 博史 森山史朗 山本雅也 芦部恵理子 旧姓 伊藤 鈴木裕子 堂 淳子 旧姓 森本 平川香里 旧姓 棚田
S63	井口素孝 田島 勇 西川博也 西村 明 馬場英典 稗田 昇 岩波ひろみ 堀 重治 物故者	H5	山村真里 上西征直 上羽順之 尾原大三 神谷幸治 北川充彦 佐藤 健 新谷 唯 谷 直樹 辻井憲佳 富田康一 中田頼宏 堀 勇樹 松本 智	H8	岩谷雄一朗 植村武史 菊井雅志 菰野雅和 田中 直 田中 豊 丹波泰三 富田博之 中務勝行 平尾彰浩 福谷智晴 南 尚仁 山崎墨偉
H1	河内和弥 高木博文 田中直明 橋本直人 藤井昭彦 松田 史 三善 徹 矢追明昌 山崎岳信 渡辺 勉 市川陽子 旧姓 古賀 谷口知子 旧姓 西村 長塚恵美 旧姓 石倉				
H2	有坂哲郎				

H8	石原真樹 粉川直子 旧姓 神社 高森祐子 旧姓 川崎 富士礼子 井口恭子 旧姓 松久	H13	池田政光 植田観肇 旧名 倫弘 高橋一雄 中嶋隆二 日名内健 村岡廣隆 村木 直 元岡宗紀 村木絵里奈 旧姓 上原 倉富有佳里 武井峰子 旧姓 足立 外園裕美子 旧姓 外間	H17	末永香菜絵 旧姓 森
H9	上田篤史 江坂拓南 川瀬敬義 厚主治則 児玉卓也 駒井祥人 田口義美 旧姓 角田 村上裕丈 河合恵利子 旧姓 本庄 馬場理子 四方友理 旧姓 藤村	H14	青野正道 今崎匡裕 小林智史 武本泰幸 今崎扶美子 旧姓 林	H18	清水洋兵 中野裕之 藤井康史 上野百百子 末陰章奈 本内絵美子
H10	明地将一 池原隆太 井上直人 川中寿宏 小柳正之 佐野 治 佐山朋之 花田佳明 真島健太 松本将矢 村田浩一 國政恭子 旧姓 徳稻 高地美和 旧姓 中澤 藤島公華 旧姓 渡部	H15	新井啓人 坂井良平 山中英樹 岡田康代 旧姓 高山	H19	植村晋二 大槻 融 中尾秀平 南 和則 林 勇氣
H11	井口利之 旧姓 清水 岩本武司 梅田 郷 北川哲也 谷口真一 所 勝裕 東谷昭秀 伊藤美由紀 旧姓 柳生 岩本絢深 旧姓 内山 菰野祥子 佐山佳奈子 旧姓 飯島 八木かおり	H16	佐野豪彦 瀬戸口義人 辻井康人 西本尚夫 藤本享平 吉川悦郎 安東良子 松島法子 山路陽子 山田朝子	H20	伊藤拓也 遠藤 元 西川良平 白鳥幸子 谷口枝璃子 津田真子
		H17	小林武史 中尾利樹 中嶋剛大 藤田耕平 山崎泰佑 山本 司 上野麻実 浦田由佳子 塩田佳苗 花田貴美子 旧姓 出口	H21	小川直毅 柳田直人 角田夕佳 寺本美幸 南 知里
				H22	石山純平 上山友裕 岡部有佑 抱 佑樹 木下翔平 黒田麻祥 古市将也 高橋 淳 竹田隆史 外川達之 福田圭宏 古川博康 宮下朋幸 山下隆豪 佐々木晴香 西川祐未 濱田紘代 藤吉彩乃

現役部員自己紹介

4回生

青山 絵美子 (社会学部)

技術と競技運営を務めています。
よく「背が小さいね」と言われますが、青山家では2番目に身長が高いです。
食べること&寝ることに幸せを感じています。ご飯をよく食べます。将来の夢は、教員になることと、主婦になることです。

石田 尚吾 (文化情報学部)

m9 (・`ω・) しがない HP 管理兼記録管理兼普及様のお通りだぞコラ！！
気持ちよく射ても点数がなかなか出ない。まったく、単純そうで複雑なスポーツがあったものだ！
あやややや……なんだか自虐的ですね
__ノ乙(、ン、)__ こ～んなヘタレだけどなんとかやってこれたのは、結局みんなのおかげかな？

金村 賢 (商学部)

失礼します！！第51代主将です。
無事に卒業できるかととても心配な中、勉強に取り組んでいます。
それはさておき、私たちの代でこのように盛大な式典を開催し50年という節目の時を迎えられたことをとても誇らしく思います。これからのさらなる発展を祈念いたしまして自己紹介とさせていただきます。

黒木 洋平 (工学部)

第51代のOB 涉外、初心者指導担当です。
50周年・・・正直実感がないですが、50年アーチェリー部が続いてきたと思うとちょっと感動したりします。
皆の自己紹介文を見て、よくこれだけ色々な性格の人間が集まったものだと思いますが、これだけ色々な人と出会えた事にちょっと感動したりする感動しかしていない僕でした。

坂本 いつか (政策学部)

第51代女子リーダーを務めています。
同志社大学アーチェリー部に入部し、同期や後輩などたくさんの人と出会いその中でアーチェリーが出来たことは私の“宝物”です！
また、50周年という節目の年に幹部として部活動を支えることができ、とても光栄に思っています。

田中 亮平 (工学部)

どうも、同志社大学体育会アーチェリー部のハニカミ王子ことスパークです。好きな言葉は関西弁での『ありがとう』。
いつも考えてることは、周りのみんなを常に笑顔にするにはどうしたらいいか。この思いが達成された時世界は平和に包まれているはず。そうして僕は笑顔になろう。

中川 貴志 (工学部)

第51代副将・会計・トレーナー兼任しています。出身高校は同志社高等学校です。
50周年という節目の年に部活を支えることができ、とても嬉しく思います。

平松 辰悟 (商学部)

第51代の主務を務めています。
私は大学からアーチェリーを始め、競技者と同時に、主務として様々な実務を担当してきました。
50周年という節目の年に幹部として部活動を支えることが出来て、本当に良かったと思います。

松本 千晶 (経済学部)

一時本気で農業に就職しようと考えました。皆さん群馬県がどこにあるかわかりますか？鶴の形をしているので地図を見て調べてみて下さい。
自然いっぱい地元群馬の田舎がやっぱり一番です。そんな田舎大好きな私はゼミで田植えしているのでやってみたい方は是非声をかけて下さい。

政所 あすか (文学部)

1 回生から体育会本部で役員をしており、ここでは会計を努めています。同志社高校アーチェリー部の出身ということもあり、同志社もアーチェリーも大好きです♪50 周年式典と共に引退となりますが、今後の同志社アーチェリーの益々の発展を祈っています！

3 回生

泉 佳樹 (理工学部)

アーチェリー部には、射撃部を見に行った時に、アーチェリー部を見学に来たと間違えられて「どっちでもいいか。」と思い、入部致しました。

もともと、体育会に入って無かったため始めは、不安が多かったのですが、今では家よりも居心地が良くなりました。

伊藤 翔 (法学部)

兵庫県の神戸高校出身です。楽しそうなサークルなどを探していたところアーチェリー部を見つけ興味を持ったため入部しました！

もう 22 歳ですので、部内では主に「兄さん」と呼ばれています。大学始めではありませんが、セレで入ったメンバーに負けられないような実力をつけたいと思っています。

井戸 孝信 (政策学部)

1989 年に日本で生を受け、1998 年にサイパンに移住して以来、黄色人種を卒業しました。大学進学までの過程で小学校を 2 度退学になったり、

高校でネトゲ廃人になったりした経験を持ちますが、それ以外は普通の教育課程を全うしてきました。大学では青春の汗を流すことなくアーチェリーに励んでいます。

趣味は非実在青少年達と非実在高校で非実在恋愛に明け暮れることです。

臼井 辰朗 (商学部)

オレンジとか、人生サスケとか、バンコクええ所とか、カバめちや強いとか、そんなんばっか言うてるうちに 21。社会的に見たらすでに「大人」です。これで良いんでしょうか

『この道を行けば、どうなるものか…危ぶむなかれ』

アーチェリーと筋肉とボールは友達!

俺たちは学アのトップチームだ!

ファン・ワウクハウゼ エリ

(日文センター交換留学)

オランダのライデン大学・文学部日本語学科三回生として一年間同志社に留学しています。ずっと前からアーチェリーに興味があつて、同志社への交換留学が実際にアーチェリーをする機会となりました。よろしくお願いします。

小川 大志 (理工学部)

大学からアーチェリーを始めました。最近ではケータイ小説にはまっていて、「勘違〇〇異世界戦〇」というのを読みました。この話は同じ場面が主人公と周りの人物の二つの視点で書かれて、その差が面白いです。情景も想像しやすかったので、機会があれば探してみてください。

小黒 弘貴 (スポーツ健康科学部)

アーチェリーを始めて 8 年になります。同志社大学に入ってから、あまり活躍できていないですが、これからの 2 年間で結果を残せるように練習するので、応援よろしくお願いします。

甲斐切 統 (経済学部)

初見の方からは大抵名前の読み方を聞かれるので我ながらめんどくさい名前だなと…
(笑)

アーチェリーを始めたきっかけは走らない競技を選んだという単純な理由でしたが、怠慢な僕が大学まで続けていられるという事がこの競技が魅力的である証拠だと思っています！

桐山 聖也 (理工学部)

こんにちは。今年の目標は今までよくしゃべるが恋愛がうまくいかないため「肉食系ガゼル」と呼ばれていましたが、これからは「肉食系ライオン」と呼ばれるようなひとになりたいです。

佐藤 直子 (文化情報学部)

同志社高等学校のときから今までアーチェリーを続けて、今年 6 年目になりました。趣味はサッカー観戦と製菓です。どんな難関も前向きに捉えることが得意なポジティブな性格が取り柄です。よろしくおねがいします。

猿渡 一馬 (法学部)

全日本学生アーチェリー連盟第 49 代競技副委員長を務めさせていただいています。アーチェリーは高校の時に始めましたが、未だにわからない事だらけで奥が深いですね。学連は 2 回生の時に生まれてしまいました。常にしんどい事だらけで先が暗いですねwそれでは地方に飛んで来ます！

田附 里奈 (スポーツ健康科学部)

出身高校は同志社国際高等学校で、高校では陸上競技部でやり投をかじりました。昨年度には、ドイツに交換留学させていただきありがとうございました。その経験を活かし、新たな気持ちで頑張りますので、よろしくおねがいします。

土岐 秀幸 (経済学部)

両親は日本人ながらアメリカ生まれ、二重国籍の持ち主です。なので実はアメリカ人です。しかし来年アメリカ国籍が消えます。残念です。そんな僕はアーチェリー歴 8 年。そろそろ世界に出ないと色んな人に怒られる気がしてなりません。国籍に恥じないよう世界を目指して頑張ります。

張間 舞妃 (スポーツ健康科学部)

みかんと梅干ししかないど田舎！とみんなにバカにされる和歌山から京都に来て、はや 3 年目…アーチェリーを中心にした生活の中、私にぴったりのスポ健で充実した日々を送っています。

樋上 純也 (政策学部)

奈良県出身です。奈良といえば今は 1300 年祭が熱いです。奈良県にお立ち寄りの際はぜひ 1300 年祭に起こし下さい。アーチェリーとは全く関係のない話をしてしまい申し訳ありません。あと一年ばかりとなりましたが精一杯アーチェリーに取り組もうと思います。今後もよろしくおねがい致します。

前田 隆伸 (経済学部)

毎日楽しく勉強しているよっ☆
もちろん部活との両立もぼっちりさ!!
みーんなー、こーんにーちはー！あれ～声が聞こえないぞお～??もう一回いくよ、みーん(ry
ふう、こんなものでどうでしょう、監督(・ω・)キリッ

松村 麻衣 (法学部)

同志社高校から続けて、今年で 6 年目になりました。熱き内部魂を心に秘めつつ、日々ほどほどにアーチェリーを頑張っています。立ち直りや切り替えが早いのが長所であり短所です。よろしくおねがいします。

森 由香子 (文学部)

大阪が生んだ！同志社香里が生んだ！小さな不思議な女の子。笑いと自由の中で育った私が大学でアーチェリーに出会いました。大好きなアーチェリーと共に日々上を目指して頑張っています。

山本 彩加 (商学部)

現在は副務をやらせていただいています。出身高校は同志社女子で、女子校だったゆえに大学に入ってから戸惑うこともちらほらと…

常識をもっと学びたいと思います！アーチェリーは中学からやっていますが、もっとうまくなれるように練習に励みます！

和田 恵 (社会学部)

「奈良が生んだ奇跡の妖精」と言えばこの私です。中学・高校とアーチェリーしてきました！京都の暑さ、寒さには奈良県民人ながら驚いてます。れ、練習できない…笑)特技はハサミひとつで他人の髪の毛を切ること、苦手な事はカバンの中から定期券を探し出すことです！よろしくお願ひします！

2 回生

足立 菜穂 (商学部)

私立甲南女子高等学校出身。生まれも育ちも神戸の生粋の神戸っ子。あいらぶ KOBE あいらぶ HYOGO。

日々ある幸せに感謝！！たくさんの方に感謝！！自分がやるって決めた目標、絶対成し遂げます。その為に同志社に来ました。継続は力なり！これモットーにこれからも頑張ります。

荒井 友 (商学部)

同志社大学体育会アーチェリー部に入って、初めて目つきが悪いと言われるようになりました。

春日部共栄高校から指定校で入ってきた割に成績は大したことなく(むしろ悪い)アーチェリーしか頑張っていない。そして残念ながらアーチェリーも上手くありません。完全にしょうもない僕ですがこれで自己紹介とさせていただきます。

井上 万稚 (心理学部)

和歌山県立和歌山高等学校出身です。

2 回生から勉強が難しくなり、今勉強に追われています。自分の計画性のなさを痛感しているので、今後は、計画的に行動できるよう頑張りたいと思います。

よろしくお願ひします。

音無 浩佑 (商学部)

単位の件では大変お騒がせしました。4 年間で卒業できるよう精一杯努力してまいります。アーチェリーの方では王座で優勝できるような戦力になること、そして将来的には世界で戦える力をつけることが目標です。よろしくお願ひ致します。

河津 彩香 (社会学部)

私立大分東明高等学校出身です。九州から来た珍しい人だと思います。

2 回生になって、メディアについての専門的なことを学べるようになり大学が楽しいと思えるようになりました。けれど、やっぱり英語は苦手です。

アーチェリーと両立をしながら、大学生活楽しみたいと思います。

北村 治伸 (社会学部)

こんにちは。治伸と書いてはるのぶと読みます。あだ名はぼんちゃんです。見た目はおやじ、頭脳は中学生並みです。

でも単位数は今のところ、同期の誰かさんよりは安全圏です。アーチェリーでは誰にも負けないよう、努力し続けます。こんな私ですが、よろしくお願ひ致します。

近藤 仁貴 (理工学部)

アーチェリーは大学からの初心者で部内でも 1、2 を争う貧弱さにより常時両手が産まれたての小鹿みたいになりながらアーチェリーに勤んでます。今年は先輩にもなったのでもう少し計画的に生きていこうと思います。

富田 洋輔 (理工学部)

電車 1 駅で生駒。家の近くに登山コースがあるけどギリ大阪府民のトミーです。

アーチェリーの技術云々以前に体調不良を起こし過ぎという状態。大学入ってから身体弱くなった気がする残念な感じですが、何とか生きて頑張ってる奴です。

中嶋 千雅 (理工学部)

出身高校は私立同志社女子高等学校です。最近勉強と部活の疲れですぐどこでも寝てしまう癖がついてしまいました。疲れた時は大好きなレミオロメンを聞いて心を癒しています…

とにかく規則正しい生活を送りたいと思います！！よろしくお願いします。

浜田 悠樹 (文化情報学部)

最近文情に入った事を後悔しっぱなしです。

卒業までちょっし百単位なんであと 4、5 年で卒業できればと思います。

おわり。

藤井 千裕 (商学部)

私立同志社女子高等学校出身です。

春からスターバックスでバイトを始めて、現在ゆっくり成長中です。

最近、普段の生活がアーチェリーにつながっていると感じる事が多いので、日常生活を大切にアーチェリーに取り組みたいです。

松木平 開 (経済学部)

どーもこんにちわ！

高校時代は単位なんてなかったから何とかかなりましたが、大学生の今、案の定単位にやられてます☆

でも大丈夫！だって、荒井の目のモノマネできるから！！

激似って本人からも絶賛されて困ってますよ(笑)

荒井って誰かって???

「同志社大学 目つき」で検索☆

最後に一言！！4 年で卒業何て言わないで！もう 1 年一緒にどう？

山本 淳 (社会学部)

おはようございます。兵庫県立舞子高等学校出身です。大学 1 金欠な男だと思います!! その証拠に 1 人暮らしをしてから 1 年でピーク時よりも体重が 12 キロぐらい減りました。1 人暮らしはサバイバルですね。よろしくお願いします。

1 回生

井戸本 恵莉紗 (スポーツ健康科学部)

おはようございます！まず性格は基本まじめなんですが、たまに抜けている所があります。常に目標がないと嫌です。

負けず嫌いです。好きな言葉は“自信”で、ネコが好きです。この 4 年間しっかりメリハリを持って過ごしたいです。またアーチェリーをもっと強くなります。

大塚 謙史 (スポーツ健康科学部)

ご、ご存知ないのですか!?彼こそが逆境からチャンスを掴み同志社大学体育会アーチェリー部のトップの座に駆け上がっている超時空シンデレラことスポ健一回生大塚謙史です!!

「みんな近射して!銀河のはちえまれ〜」キラッ☆流星にまたがってあなたに急降下 AhAh〜濃紺の星空に私たち花火みたい心が光の矢を放つ一生き残り T(ry

瀧本 知史 (商学部)

おはようございます。神戸で生まれ神戸で育ちました。出身高校は滝川高校です。趣味・特技は特に有りません。

特技はアーチェリーですって言える人間になりたいですね。つまらない文章でごめんなさい。卒業するころにはもっとおもしろい文章を書けるようにがんばります。

中村 公昭 (理工学部)

出身地は山口県なので大学ではかなりアウェーです。初心者なのでまだまだアーチェリーに慣れてませんが、早く弓を持たせてもらって、試合に出て活躍したいです。よろしくお願いします。

西村 洋毅 (スポーツ健康科学部)

TRRR…TRRR…ガチャ はい、同志社大学体育会アーチェリー部 1 回生の西村です。自己紹介します。僕はスポーツ健康科学部に所属していて、体の勉強をしながら、毎日練習に励んでいます。

目標は、世界で活躍する選手になることです。こんな僕を、どうぞよろしくお願いします。

では、失礼します。ガチャ…ツー…ツー

馬場 あゆみ (商学部)

やった！同志社受かった！と言って泣いて喜んだ時から半年がたちます。皆様はじめまして。高 1 の頃から憧れ続けた大学でアーチェリーをしています。

商学部に入学し、授業着いていくのが大変ですが、部活と勉強を両立し、きちんと 4 年間で卒業出来るようがんばります！よろしくお願いします。

坂野 雄太 (心理学部)

この大学 4 年間で先輩方から多くのことを学び、たくさん練習して、ビスコをいっぱい食べて強くなり、部を引っ張っていける選手になります。

ところで知っていますか？江崎グリコのビスコは元々、酵母入りクリームサンドビスケットという名前だったそうで、それでは長いというこ……

東出 俊作 (経済学部)

同志社高校出身ですが、今年の同志社高校から続けている人間が、僕だけなんでちょっと寂しいです！

大学で自分のフォームを確立したいと思っています。ちなみに、根っからのけいおん！厨です。

古澤 智子 (社会学部)

出身校は埼玉県私立大宮開成高等学校です。アーチェリー初心者なのですが、これからたくさん練習をして上達できるように頑張ります。これからもご指導よろしくをお願いします。

古野 佑樹 (生命医科学部)

出身高校は大阪清風高校です。身長 185.0 cm 体重 60 kg. 視力 0.1 以下超瘦身超度近眼の古野です。

アーチェリーは大学に入って始めたので色々わからないことがあります。よろしくお願いします。

森本 紘文 (経済学部)

入部してからもう約 1 カ月が過ぎ、部活や学校生活にも慣れてきました。

部活での目標は同志社の王座メンバーになり、そして優勝することです！

同志社には強い先輩の方々が多いので、毎日の練習に気合が入ります。

これから 4 年間よろしくお願いします！

吉岡 弘樹 (生命医科学部)

出身高校は京都府立峰山高等学校です。初心者ですが少しでも上達でき、早く先輩方や他の同期に追いつけるように頑張りたいです。

目標は今は自分の弓を持ちそれに慣れるまで練習することです。



記録で振り返る 50 年

大会名称 T: ターゲット (アウトドア) F: フィールド
種別 RC: リカーブ FS: フリースタイル

競技会名	回数	種別	順位	
S36年 1961年				
リーグ戦	第1回春	男子	2位	4勝1敗
リーグ戦	第1回秋	男子	2位	4勝1敗
関西学生T選手権	第1回	男子	3位	木本潤二
関西学生T選手権	第1回	女子	優勝	三輪尚子
関西学生T選手権	第1回	女子	2位	森田美恵子
関西学生T選手権	第1回	女子	3位	島津美音
全日本T選手権	第3回	男子	4位	酒井英輔
全日本T選手権	第3回	男子	8位	斎田六史郎
全日本T選手権	第3回	女子	4位	森田美恵子
S37年 1962年				
リーグ戦	第2回	男子	4位	2勝3敗
女子団体戦	(非公認)		2位	(有本、新井)
全日本学生T選手権	第1回	男子	2位	西川彰二
S38年 1963年				
リーグ戦	第3回	男子	3位	3勝2敗
女子団体戦	第1回		2位	同志社A(有本、安本、三輪)
関西学生T選手権	第3回	男子	2位	谷口文夫
S39年 1964年				
リーグ戦	第4回	男子	2位	4勝1敗
女子団体戦	第2回		2位	同志社C(石田、小山、児玉)
女子団体戦	第2回		3位	同志社B(福田、谷、阪脇)
関西学生T選手権	第4回	男子	優勝	難波照征
関西学生T選手権	第4回	女子	2位	児玉信子
日比親善大会(東京)	第2回	男子	5位	木本潤二(OB)
S40年 1965年				
リーグ戦	第5回	男子	優勝	4勝1敗
甲南と同率、優勝決定戦に勝利して初優勝				
女子団体戦	第3回		優勝	同志社A(福田、吉見、児玉)
女子団体戦	第3回		2位	同志社C(石田、芦田、大野)
女子団体戦	第3回		3位	同志社B(谷、釜江、阪脇)
王座	第4回	男子	準優勝	(VS明治)
関西学生T選手権	第5回	女子	優勝	児玉信子
関西学生T選手権	第5回	女子	3位	阪脇初子

競技会名	回数	種別	順位	
関西学生T選手権	第5回	男子団体	3位	同志社A(阪口、成瀬、難波)
全日本学生T選手権	第4回	男子	8位	塚本耕二
全日本学生T選手権	第4回	女子	8位	吉見美智子
S41年 1966年				
リーグ戦	第6回	男子	優勝	5勝0敗
リーグ戦	第1回	女子	優勝	4勝0敗
王座	第5回	男子	優勝	(VS明治)
(山崎、塚本、成瀬、阪口、岡本、大野、藤好、難波)				
王座	第1回	女子	準優勝	(VS学習院)
関西学生T選手権	第6回	男子	2位	塚本耕二
関西学生T選手権	第6回	女子	優勝	児玉信子
関西学生T選手権	第6回	女子団体	優勝	(児玉、大倉、前田)
全日本学生T選手権	第5回	男子	8位	塚本耕二
全日本学生T選手権	第5回	女子	5位	児玉信子
S42年 1967年				
リーグ戦	第7回	男子	2位	4勝1敗
リーグ戦	第2回	女子	優勝	6勝0敗
王座	第2回	女子	準優勝	(VS学習院)
関西学生T選手権	第7回	男子	優勝	塚本耕二
関西学生T選手権	第7回	男子	2位	藤好 洋
関西学生T選手権	第7回	女子	2位	横田雅代
関西学生T選手権	第7回	女子	3位	児玉信子
関西学生T選手権	第7回	男子団体	優勝	(塚本、藤好、井田)
関西学生T選手権	第7回	女子団体	優勝	(横田、児玉、津久間)
全日本学生T選手権	第6回	女子団体	2位	(児玉、横田、津久間)
全関西T選手権	第1回	男子	2位	藤好 洋
全関西T選手権	第1回	女子	優勝	児玉信子
全日本T選手権	第9回	女子	6位	児玉信子
S43年 1968年				
リーグ戦	第8回	男子	4位	2勝3敗
リーグ戦	第3回	女子	3位	3勝2敗
全日本学生T選手権	第7回	男子	5位	塚本耕二
全関西T選手権	第2回	男子	5位	藤好 洋
全日本T選手権	第10回	男子	優勝	塚本耕二
S44年 1969年				
リーグ戦	第9回	男子	2位	4勝1敗
リーグ戦	第4回	女子	4位	1勝3敗
関西学生T選手権	第9回	女子	3位	林 純子
関西学生T選手権	第9回	男子団体	2位	(日比野、松沢、宮川)
全関西T選手権	第3回	女子	6位	小林廣子

競技会名	回数	種別	順位	
S45年 1970年				
リーグ戦	第10回	男子	5位	1勝4敗
リーグ戦	第5回	女子	3位	2勝2敗
関西学生T選手権	第10回	女子	優勝	布浦裕子
関西学生T選手権	第10回	女子団体	2位	(布浦、林、岡村)
全日本学生T選手権	第9回	男子	4位	日比野正嗣
全日本学生T選手権	第9回	女子	2位	布浦裕子
全日本学生T選手権	第9回	女子団体	優勝	(布浦、林、岡村)
全関西T選手権	第4回	女子	2位	布浦裕子
西日本選抜	第1回	男子	優勝	塚本耕二(OB)
西日本選抜	第1回	女子	2位	布浦裕子
全日本T選手権	第12回	男子	8位	日比野正嗣
全日本T選手権	第12回	女子	優勝	布浦裕子 日本新(1159点)
S46年 1971年				
リーグ戦	第11回	男子	3位	3勝2敗
リーグ戦	第6回	女子	3位	2勝2敗
関西学生T選手権	第11回	男子	優勝	日比野正嗣
関西学生T選手権	第11回	女子	優勝	布浦裕子
関西学生T選手権	第11回	女子	3位	川北真佐江
関西学生T選手権	第11回	男子団体	優勝	(日比野、梅村、飛田)
関西学生T選手権	第11回	女子団体	優勝	(布浦、川北、岡村)
全日本学生T選手権	第10回	男子	優勝	日比野正嗣
全日本学生T選手権	第10回	男子	4位	澤田洋一
全関西T選手権	第5回	男子	優勝	日比野正嗣
全日本T選手権	第13回	男子	6位	塚本耕二(OB)
全日本T選手権	第13回	女子	5位	布浦裕子
全日本社会人T選手権	第4回	男子	6位	塚本耕二(OB)
世界T選手権 (イギリス:ヨーク)	第26回	女子	18位	布浦裕子
世界T選手権 (イギリス:ヨーク)	第26回	女子団体	9位	日本(布浦が参加)
S47年 1972年				
リーグ戦	第12回	男子	2位	4勝1敗
リーグ戦	第7回	女子	優勝	5勝0敗
王座	第7回	女子	優勝	(VS日体)
(岡村、岡田、川北、磯田、加藤) 初優勝				
関西学生T選手権	第12回	女子	2位	川北真佐江
関西学生T選手権	第12回	女子団体	優勝	(川北、磯田、岡村)
全日本学生T選手権	第11回	男子	2位	日比野正嗣
全日本学生T選手権	第11回	男子	8位	葛西裕治
全日本学生T選手権	第11回	女子	3位	磯田恵美子
西日本選抜	第3回	男子	3位	日比野正嗣
西日本選抜	第3回	男子	7位	梅村 豊

競技会名	回数	種別	順位	
西日本選抜	第3回	女子	5位	川北真佐江
全日本T選手権	第14回	男子	優勝	日比野正嗣
オリンピック (ドイツ:ミュンヘン)	第20回	男子	29位	日比野正嗣

S48年 1973年

リーグ戦	第13回	男子	優勝	4勝1敗
大阪学院、桃大と同率、優勝決定戦に勝利して優勝				
リーグ戦	第8回	女子	優勝	5勝0敗
西ブロック		男子	優勝	(VS熊大)
西ブロック		女子	優勝	(VS福岡)
王座	第12回	男子	準優勝	(VS慶應)
王座	第8回	女子	優勝	(VS日体)
(岡村、岩崎→田中、川北、竹本、磯田) 2年連続2度目				
関西学生T選手権	第13回	女子	優勝	川北真佐江
関西学生T選手権	第13回	男子団体	3位	(木村佳、桜井、木村和)
関西学生T選手権	第13回	女子団体	優勝	(川北、岡村、竹本)
全日本学生T選手権	第12回	女子	2位	川北真佐江
全関西T選手権	第7回	女子	優勝	川北真佐江
全日本T選手権	第15回	男子	4位	日比野正嗣(OB)
全日本社会人T選手権	第6回	男子	4位	日比野正嗣(OB)
全日本F選手権	第2回	FS男子	6位	酒井英輔(OB)
世界T選手権 (フランス:グルノーブル)	第27回	男子	39位	日比野正嗣(OB)

S49年 1974年

リーグ戦	第14回	男子	優勝	5勝0敗
リーグ戦	第9回	女子	優勝	4勝1敗
関学と同率、優勝決定戦に勝利して優勝				
西ブロック		男子	優勝	(VS熊大)
西ブロック		女子	優勝	
王座	第13回	男子	準優勝	(VS慶應)
王座	第9回	女子	優勝	(VS成城)
(川北、田中、竹本、伊藤、岩崎) 3年連続3度目				
関西学生T選手権	第14回	男子	3位	桜井英一
関西学生T選手権	第14回	女子	3位	川北真佐江
全日本学生T選手権	第13回	女子	6位	川北真佐江

S50年 1975年

リーグ戦	第15回	男子	2位	4勝1敗
リーグ戦	第10回	女子	2位	4勝1敗
関学、甲女と同率、平均点により2位				
関西学生T選手権	第15回	男子	優勝	道永 宏
関西学生T選手権	第15回	男子	3位	河内敬雄
関西学生T選手権	第15回	女子	2位	後藤有理子
関西学生T選手権	第15回	男子団体	優勝	(道永、河内、豆田)

競技会名	回数	種別	順位	
関西学生T選手権	第15回	女子団体	優勝	(後藤、岩崎、山本)
全日本学生T選手権	第14回	男子	3位	河内敬雄
全日本学生T選手権	第14回	女子	2位	後藤有理子
全日本学生T選手権	第14回	女子	7位	岩崎敬子
全関西T選手権	第9回	男子	2位	道永 宏
全日本社会人T選手権	第8回	男子	3位	日比野正嗣(OB)
S51年 1976年				
リーグ戦	第16回	男子	優勝	5勝0敗
リーグ戦	第11回	女子	優勝	5勝0敗
西ブロック		男子	優勝	(VS熊大)
西ブロック		女子	優勝	
王座	第15回	男子	優勝	(VS中京)
(豆田、谷脇、田中、河内、森川、道永、伊東、渡辺)			10年ぶり2度目	
王座	第11回	女子	準優勝	(VS日体)
関西学生T選手権	第16回	男子	優勝	道永 宏
関西学生T選手権	第16回	男子	2位	渡辺雅典
関西学生T選手権	第16回	女子	優勝	後藤有理子
関西学生T選手権	第16回	男子団体	優勝	(渡辺、道永、河内)
関西学生T選手権	第16回	女子団体	2位	(中島、後藤、山本)
全日本学生T選手権	第15回	男子	優勝	道永 宏
全日本学生T選手権	第15回	女子	優勝	後藤有理子
全関西T選手権	第10回	女子	優勝	後藤有理子
全日本T選手権	第18回	男子	2位	道永 宏
全日本T選手権	第18回	女子	優勝	後藤有理子
オリンピック (カナダ:モントリオール)	第21回	男子	銀メダル	道永 宏
S52年 1977年				
リーグ戦	第17回	男子	優勝	5勝0敗
リーグ戦	第12回	女子	3位	3勝2敗
西ブロック		男子	優勝	(VS福岡、広島)
王座	第16回	男子	優勝	(VS中京)
渡辺、上田、伊東、倉貫、壱岐尾、谷脇、森川、道永)			2年連続3度目	
関西学生T選手権	第17回	男子	優勝	伊東弘之
関西学生T選手権	第17回	男子	3位	道永 宏
関西学生T選手権	第17回	女子	優勝	後藤有理子
関西学生T選手権	第17回	男子団体	優勝	(道永、伊東、谷脇)
関西学生T選手権	第17回	女子団体	優勝	(後藤、田中、中江)
全日本学生T選手権	第16回	男子	2位	道永 宏
全日本学生T選手権	第16回	女子	優勝	後藤有理子
全関西T選手権	第11回	男子	3位	日比野正嗣(OB)
全関西T選手権	第11回	女子	2位	後藤有理子
全日本T選手権	第19回	女子	優勝	後藤有理子
世界T選手権 (オーストラリア:キャンベラ)	第29回	男子	11位	道永 宏

競技会名	回数	種別	順位	
世界T選手権 (オーストラリア:キャンベラ)	第29回	女子	9位	後藤有理子
世界T選手権 (オーストラリア:キャンベラ)	第29回	男子団体	銅メダル	日本 道永が参加
世界T選手権 (オーストラリア:キャンベラ)	第29回	女子団体	4位	日本 後藤が参加
S53年 1978年				
リーグ戦	第18回	男子	優勝	5勝0敗
リーグ戦	第13回	女子	優勝	5勝0敗
西ブロック		男子	優勝	(VS広島、福工)
西ブロック		女子	優勝	(VS広女)
王座	第17回	男子	優勝	(VS日体)
(谷脇、上田、伊東、岸→壱岐尾、道永、森川、木村、河内)				3年連続4度目
王座	第13回	女子	優勝	(VS日体)
(中江→山田、円月、後藤、伊達、田中)				4年ぶり4度目 史上初のアベック優勝
関西学生T選手権	第18回	男子	3位	道永 宏
関西学生T選手権	第18回	女子	3位	後藤有理子
関西学生T選手権	第18回	男子団体	優勝	(道永、上田、伊東)
全日本学生T選手権	第17回	男子	5位	道永 宏
全日本学生T選手権	第17回	女子	3位	後藤有理子
全日本T選手権	第20回	女子	7位	後藤有理子
アジア大会(タイ:バンコク)	第8回	女子	銀メダル	後藤有理子
アジア大会(タイ:バンコク)	第8回	女子団体	金メダル	日本 後藤が参加
関西学生F選手権	第1回	女子	2位	田中敬子
S54年 1979年				
リーグ戦	第19回	男子	4位	2勝3敗
リーグ戦	第14回	女子	2位	4勝1敗
関西学生T選手権	第19回	女子	3位	村上さつき
関西学生T選手権	第19回	女子団体	2位	(中川、西、村上)
全日本学生T選手権	第18回	女子	優勝	村上さつき
全日本学生T選手権	第18回	女子	8位	西 真喜子
全関西T選手権	第13回	男子	3位	道永 宏(OB)
全日本社会人T選手権	第12回	女子	3位	後藤有理子(OG)
関西学生F選手権	第2回	女子	優勝	畑中真弓
S55年 1980年				
リーグ戦	第20回	男子	3位	3勝2敗
リーグ戦	第15回	女子	優勝	5勝0敗
西ブロック		女子	優勝	
関西学生T選手権	第20回	女子	優勝	畑中真弓
関西学生T選手権	第20回	男子団体	2位	(藤野、山下、木下)
関西学生T選手権	第20回	女子団体	優勝	(畑中、西、中川)
全日本学生T選手権	第19回	女子	5位	畑中真弓
全関西T選手権	第14回	女子	優勝	児玉信子(OG)

競技会名	回数	種別	順位	
国体(栃木)	第35回	成年女子団体	4位	京都 畑中が参加
この年から国体正式参加				
全日本T選手権	第22回	女子	6位	畑中真弓
S56年 1981年				
リーグ戦	第21回	男子	2位	4勝1敗
リーグ戦	第16回	女子	3位	3勝2敗
全関西T選手権	第15回	女子	3位	児玉信子(OG)
国体(滋賀)	第36回	成年男子団体	5位	京都 日比野(OB)中尾が参加
国体(滋賀)	第36回	成年女子団体	8位	京都 村上が参加
関西学生F選手権	第4回	女子	3位	村上さつき
全日本F選手権	第10回	FS女子	4位	村上さつき
S57年 1982年				
リーグ戦	第22回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
この年から2ブロック制				
リーグ戦	第22回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第17回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第17回	女子優勝決定戦	優勝	(VS京府)
西ブロック		女子	優勝	
王座	第17回	女子	優勝	(VS学習院)
(畑中、樋口、村上、奥田、中川→西田)4年ぶり5度目				
関西学生T選手権	第22回	女子	優勝	樋口ますみ
関西学生T選手権	第22回	女子	2位	奥田典子
関西学生T選手権	第22回	男子団体	3位	(藤野、山下、今井)
関西学生T選手権	第22回	女子団体	優勝	(樋口、奥田、中川)
全日本学生T選手権	第21回	女子	優勝	奥田典子
全日本学生T選手権	第21回	女子	2位	樋口ますみ
全関西T選手権	第16回	女子	優勝	樋口ますみ
関西学生F選手権	第5回	女子団体	3位	(吉川、有田)
全関西F選手権	第8回	FS男子	優勝	道永 宏(OB)
全関西F選手権	第8回	FS男子	2位	藤野 実
全日本F選手権	第11回	FS女子	4位	村上さつき
全日本F選手権	第11回	FS女子	8位	吉川美華
世界F選手権 (イギリス:キングズクレア)	第8回	FS女子	24位	村上さつき
S58年 1983年				
リーグ戦	第23回	男子Bブロック	1位	4勝1敗
摂南、大工と同率、順位決定戦に勝利して1位				
リーグ戦	第23回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第18回	女子Aブロック	1位	4勝1敗
リーグ戦	第18回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS関外)
西日本選手権	第1回	女子	4位	樋口ますみ
関西学生T選手権	第23回	男子	3位	高橋浩孝

競技会名	回数	種別	順位	
関西学生T選手権	第23回	女子	3位	樋口ますみ
関西学生T選手権	第23回	男子団体	優勝	(高橋、山下、佐々木)
全関西T選手権	第17回	男子	3位	道永 宏(OB)
全関西T選手権	第17回	女子	2位	樋口ますみ
全関西F選手権	第9回	女子	2位	村上さつき(OG)
全日本F選手権	第12回	FS男子	優勝	道永 宏(OB)
全日本F選手権	第12回	FS女子	2位	村上さつき(OG)
全日本社会人F選手権	第4回	FS女子	3位	村上さつき(OG)

S59年 1984年

リーグ戦	第24回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第24回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第19回	女子Aブロック	2位	3勝2敗
帝大、関学と同率、平均点により2位				
西日本選手権	第2回	女子	7位	樋口ますみ
関西学生T選手権	第24回	男子	優勝	高橋浩孝
関西学生T選手権	第24回	男子団体	2位	(高橋浩、佐々木、高橋宣)
関西学生T選手権	第24回	女子団体	優勝	(樋口、松島、岩波)
全日本学生T選手権	第23回	男子	2位	高橋浩孝
全日本学生T選手権	第23回	女子	4位	樋口ますみ
全日本社会人F選手権	第5回	FS女子	7位	村上さつき(OG)

S60年 1985年

リーグ戦	第25回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第25回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第20回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第20回	女子優勝決定戦	優勝	(VS神大)
西ブロック		女子	3位	(VS福岡、山口)
西日本選手権	第3回	男子	2位	高橋浩孝
西日本選手権	第3回	女子	7位	松島加恵
関西学生T選手権	第25回	女子	3位	樋口ますみ
関西学生T選手権	第25回	男子団体	2位	(高橋浩、高橋宣、村松)
関西学生T選手権	第25回	女子団体	優勝	(樋口、岩波、松島)
全日本学生T選手権	第24回	女子	2位	樋口ますみ
全関西T選手権	第19回	女子	優勝	樋口ますみ
全日本社会人F選手権	第6回	FS女子	3位	奥田典子(OG)

S61年 1986年

リーグ戦	第26回	男子Bブロック	1位	4勝1敗
阪大、桃大と同率、順位決定戦に勝利して1位				
リーグ戦	第26回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第21回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第21回	女子優勝決定戦	優勝	(VS神大)
西ブロック		女子	2位	(VS福岡、広島)
西日本選手権	第3回	女子	優勝	岩波ひろみ

競技会名	回数	種別	順位	
西日本選手権	第3回	女子	4位	松島加恵
関西学生T選手権	第26回	女子団体	2位	(中野、松島、西村)
全関西T選手権	第20回	女子	3位	樋口ますみ(OG)
関西学生F選手権	第9回	女子	優勝	岩波ひろみ
関西学生F選手権	第9回	女子団体	2位	(岩波、西村)
全国学生選抜F選手権	第4回	女子	4位	西村知子
全日本F選手権	第15回	FS女子	7位	西村知子

S62年 1987年

リーグ戦	第27回	男子Bブロック	5位	1勝4敗
摂南と同率、順位決定戦に勝利して5位				
リーグ戦	第22回	女子Bブロック	2位	4勝1敗
西日本選手権	第5回	女子	3位	岩波ひろみ
西日本選手権	第5回	女子	6位	伊東希句代
関西学生T選手権	第27回	女子	3位	岩波ひろみ
関西学生T選手権	第27回	女子団体	優勝	(岩波、中野、伊東)
全関西T選手権	第21回	女子	優勝	伊東希句代
全関西T選手権	第21回	女子	3位	中野文枝
国体(沖縄)	第42回	成年男子団体	5位	京都 日比野(OB)が参加
関西学生F選手権	第10回	女子	3位	山口裕子
関西学生F選手権	第10回	女子団体	2位	(山口、西村)
全関西F選手権	第13回	FS女子	3位	畑中真弓(OG)
全国学生選抜F選手権	第5回	女子	優勝	山口裕子
全日本F選手権	第16回	FS女子	7位	山口裕子
全日本社会人F選手権	第8回	FS女子	2位	畑中真弓(OG)

S63年 1988年

リーグ戦	第28回	男子Bブロック	4位	1勝4敗
神大、阪大と同率、順位決定戦に勝利して4位				
リーグ戦	第23回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第23回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS関外)
西日本選手権	第6回	女子	4位	中野文枝
関西学生T選手権	第28回	女子	2位	中野文枝
関西学生T選手権	第28回	女子	3位	松宮真由美
関西学生T選手権	第28回	女子団体	優勝	(中野、松宮、寺島)
全日本学生T選手権	第27回	女子	5位	中野文枝
全日本学生T選手権	第27回	女子	7位	松宮真由美
全関西T選手権	第22回	女子	2位	伊東希句代
国体(京都)	第43回	成年女子	6位	松宮真由美
国体(京都)	第43回	成年女子団体	5位	静岡 中野が参加
全日本社会人T選手権	第21回	女子一般	8位	岩波ひろみ(OG)
全日本F選手権	第17回	FS女子	8位	山口裕子
全日本社会人F選手権	第9回	FS女子	5位	畑中真弓(OG)

競技会名	回数	種別	順位	
H1年 1989年				
リーグ戦	第29回	男子Aブロック	3位	3勝2敗
京大と同率、平均点により3位				
リーグ戦	第24回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第24回	女子優勝決定戦	優勝	(VS関外)
西ブロック		女子	優勝	(VS九州、岡山)
王座	第24回	女子	準優勝	(VS日体)
西日本選手権	第7回	女子	5位	伊東希句代
西日本選手権	第7回	女子	7位	松宮真由美
関西学生T選手権	第29回	女子団体	優勝	(岡、神谷、栗津)
国体(北海道)	第44回	成年女子団体	5位	静岡 岡、中野が参加
関西学生F選手権	第12回	男子	優勝	湊 充
関西学生F選手権	第12回	女子	優勝	岡 珠世
関西学生F選手権	第12回	女子	3位	栗津友希子
関西学生F選手権	第12回	男子団体	優勝	(湊、杉山)
関西学生F選手権	第12回	女子団体	優勝	(岡、栗津)
全日本学生F選手権	第2回	男子	2位	杉山幸司
全日本学生F選手権	第2回	女子	3位	岡 珠世
全日本学生F選手権	第2回	女子	6位	寺島直子
全日本学生F選手権	第2回	女子	7位	神谷京子
H2年 1990年				
リーグ戦	第30回	男子Bブロック	3位	3勝2敗
リーグ戦	第25回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第25回	女子優勝決定戦	優勝	(VS関外)
西ブロック	第23回	女子	優勝	(VS福岡、山口)
王座	第25回	女子	準優勝	(VS日体)
西日本選手権	第8回	女子	2位	林 康恵
西日本選手権	第8回	女子	5位	岡 珠世
関西学生T選手権	第30回	女子	優勝	神谷京子
関西学生T選手権	第30回	女子団体	優勝	(山村、神谷、小山)
全日本学生T選手権	第29回	男子	4位	尾原大三
全日本学生T選手権	第29回	女子	2位	神谷京子
全関西T選手権	第24回	女子	2位	神谷京子
国体(福岡)	第45回	成年男子	8位	尾原大三
国体(福岡)	第45回	成年男子団体	優勝	京都 尾原が参加
国体(福岡)	第45回	成年女子団体	5位	静岡 岡が参加
全日本T選手権	第32回	女子	6位	神谷京子
関西学生F選手権	第13回	男子	2位	上西征直
関西学生F選手権	第13回	男子	3位	西村文一
関西学生F選手権	第13回	女子	優勝	神谷京子
関西学生F選手権	第13回	男子団体	優勝	(上西、西村)
関西学生F選手権	第13回	女子団体	優勝	(神谷、林)
全日本学生F選手権	第3回	男子	優勝	上西征直

競技会名	回数	種別	順位	
全日本学生F選手権	第3回	女子	優勝	寺島直子
全関西F選手権	第16回	FS男子	優勝	斎川 誠
H3年 1991年				
リーグ戦	第31回	男子Aブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第26回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第26回	女子優勝決定戦	優勝	(VS近大)
西ブロック	第24回	女子	優勝	(VS九州、広島修道)
王座	第26回	女子	準優勝	(VS日体)
西日本大会	第2回	男子	8位	尾原大三
西日本大会	第2回	女子	5位	神谷京子
西日本大会	第2回	女子	8位	山村真理
関西学生T選手権	第31回	女子	3位	小山美代子
関西学生T選手権	第31回	女子団体	3位	(岡、神谷、小山)
全日本学生T選手権	第30回	女子	3位	神谷京子
全日本学生T選手権	第30回	女子	5位	小山美代子
A J SAFカップ	第1回	女子	優勝	西日本選抜 小山が参加
A J SAFカップ	第1回	女子	2位	(岡、神谷、小山)
全関西T選手権	第25回	女子	2位	神谷京子
国体(石川)	第46回	成年女子	8位	小山美代子
国体(石川)	第46回	成年女子団体	5位	京都 小山が参加
全日本T選手権	第33回	女子	7位	神谷京子
関西学生F選手権	第14回	女子	2位	寺島直子
関西学生F選手権	第14回	女子	3位	森本淳子
関西学生F選手権	第14回	女子団体	2位	(寺島、森本)
全日本学生F選手権	第4回	女子	5位	森本淳子
全関西F選手権	第17回	FS女子	2位	森本淳子
全日本F選手権	第20回	FS女子	6位	寺島直子
H4年 1992年				
リーグ戦	第32回	男子Aブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第27回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第27回	女子優勝決定戦	優勝	(VS近大)
西ブロック	第25回	女子	優勝	(VS安田女子、福岡、富山)
王座	第27回	女子	優勝	(VS慶應)
(小山、岡、神谷、石原、森本) 10年ぶり6度目				
西日本大会	第3回	女子	優勝	小山美代子
西日本大会	第3回	女子	4位	神谷京子
西日本大会	第3回	女子	6位	石原真樹
関西学生T選手権	第32回	女子	2位	平尾幸子
関西学生ウエスタンカップ	第4回	男子	3位	(南、辻林、平尾)
関西学生ウエスタンカップ	第4回	女子	優勝	(平尾、森本、石原)
全日本学生T選手権	第31回	女子	8位	石原真樹
AJSAFカップ	第2回	男子	5位	(南、辻林、平尾)
AJSAFカップ	第2回	女子	4位	(平尾、森本、石原)

競技会名	回数	種別	順位	
全関西T選手権	第26回	女子	3位	石原真樹
全米学生選手権		女子	5位	神谷京子
H5年 1993年				
リーグ戦	第33回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第33回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第28回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第28回	女子優勝決定戦	優勝	(VS甲女)
西ブロック 王座	第26回	女子	優勝	(VS広島、新潟、九州)
西日本大会	第4回	男子	6位	森山史朗
西日本大会	第4回	女子	3位	森本淳子
西日本大会	第4回	女子	5位	角田義美
関西学生T選手権	第33回	男子	3位	森山史朗
関西学生T選手権	第33回	女子	2位	森本淳子
関西学生ウエスタンカップ	第5回	男子	2位	(平尾、森山、駒井)
全日本学生T選手権	第32回	女子	6位	森本淳子
AJSAFカップ	第3回	女子	3位	(棚田、松久、神社)
国体(香川)	第48回	成年女子団体	3位	京都 森本、小山が参加
国体(香川)	第48回	成年男子団体	5位	静岡 平尾が参加
関西学生F選手権	第16回	男子	優勝	駒井祥人
関西学生F選手権	第16回	女子	2位	角田義美
関西学生F選手権	第16回	男子団体	3位	(駒井、森山)
H6年 1994年				
リーグ戦	第34回	男子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第34回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第29回	女子Bブロック	3位	3勝2敗
関西学生ウエスタンカップ	第6回	女子	2位	(石原、角田、松久)
全日本学生T選手権	第33回	女子	7位	石原真樹
全関西T選手権	第28回	女子	優勝	石原真樹
国体(愛知)	第49回	成年男子団体	3位	京都 駒井が参加
H7年 1995年				
リーグ戦	第35回	男子Bブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第30回	女子Aブロック	2位	4勝1敗
西日本大会	第6回	男子	6位	駒井祥人
関西学生ウエスタンカップ	第7回	男子	3位	(池原、駒井、上田)
関西学生ウエスタンカップ	第7回	女子	3位	(飯島、角田、中澤)
全日本学生T選手権	第34回	男子	5位	駒井祥人
関西学生F選手権	第18回	男子	3位	駒井祥人
全日本学生F選手権	第8回	男子	7位	駒井祥人
H8年 1996年				
リーグ戦	第36回	男子Bブロック	2位	4勝1敗

競技会名	回数	種別	順位	
リーグ戦	第31回	女子Aブロック	2位	3勝2敗
大産、甲女と同率、平均点により2位				
西日本大会	第7回	女子	7位	八木かおり
関西学生T選手権	第36回	女子	3位	八木かおり
関西学生ウエスタンカップ	第8回	女子	優勝	(中澤、飯島、柳生)
国体(広島)	第51回	成年女子団体	4位	静岡 石原が参加
関西学生F選手権	第19回	女子	2位	中澤美和
全日本学生F選手権	第9回	女子	5位	中澤美和
全日本F選手権	第25回	OL女子	2位	中澤美和
H9年 1997年				
リーグ戦	第37回	男子Aブロック	2位	3勝2敗
立命と同率、平均点により2位				
リーグ戦	第32回	女子Bブロック	2位	4勝1敗
関西学生T選手権	第37回	男子	2位	清水利之
全日本学生T選手権	第36回	女子	6位	柳生美由紀
全日本学生T選手権	第36回	女子	7位	上原絵里奈
国体(大阪)	第52回	成年男子団体	8位	京都 池原が参加
関西学生F選手権	第20回	女子	3位	飯島佳奈子
関西学生F選手権	第20回	女子団体	優勝	(飯島、柳生)
全日本学生F選手権	第10回	男子	5位	池原隆太
全日本学生F選手権	第10回	女子	5位	中澤美和
全日本F選手権	第26回	OL女子	7位	中澤美和
H10年 1998年				
リーグ戦	第38回	男子Bブロック	5位	1勝4敗
リーグ戦	第33回	女子Bブロック	2位	4勝1敗
京大、大経と同率、順位決定戦により2位				
国体(神奈川)	第53回	成年女子団体	4位	北海道 大湊が参加
全日本T選手権	第40回	RC女子	2位	上原絵里奈
関西学生F選手権	第21回	女子	優勝	倉富有佳里
全日本学生F選手権	第11回	男子	8位	清水利之
全日本学生F選手権	第11回	女子	8位	飯島佳奈子
関西学生インドア選手権	第3回	女子	優勝	上原絵里奈
H11年 1999年				
リーグ戦	第39回	男子Bブロック	6位	0勝5敗
リーグ戦	第39回	男子1部2部入替戦	2位	(1部残留)
リーグ戦	第34回	女子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第34回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
西日本大会	第10回	女子	3位	高山康代
全日本学生T選手権	第38回	女子	優勝	上原絵里奈
全日本T選手権	第41回	RC女子	2位	上原絵里奈
韓国国際大会(韓国:元州市)	第3回	女子	24位	上原絵里奈
韓国国際大会(韓国:元州市)	第3回	女子団体	5位	日本 上原が参加

競技会名	回数	種別	順位	
関西学生インドア選手権	第4回	女子	3位	上原絵里奈
全日本室内選手権	第9回	RC女子	2位	高山康代
全日本室内選手権	第9回	RC女子	4位	上原絵里奈
H12年 2000年				
リーグ戦	第40回	男子Aブロック	5位	1勝4敗
リーグ戦	第35回	女子Bブロック	2位	3勝1敗
国体(富山)	第55回	成年女子	7位	山路陽子
国体(富山)	第55回	成年女子団体	4位	兵庫 山路が参加
関西学生インドア選手権	第5回	女子	3位	高山康代
全日本室内選手権	第10回	RC女子	5位	高山康代
H13年 2001年				
リーグ戦	第41回	男子Bブロック	6位	0勝5敗
リーグ戦	第41回	男子1部2部入替戦	4位	(2部降格)
初の2部降格				
リーグ戦	第36回	女子Aブロック	2位	4勝1敗
西日本大会	第12回	男子	8位	吉川悦郎
西日本大会	第12回	女子	6位	高山康代
関西学生T選手権	第41回	女子団体	3位	(塩田、浦田、安東)
全日本学生T選手権	第40回	女子	7位	高山康代
関西学生インドア選手権	第6回	女子	2位	高山康代
H14年 2002年				
リーグ戦	第42回	男子2部Bブロック	2位	2勝2敗
摂南、関学と同率、平均点により2位				
リーグ戦	第37回	女子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第37回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
西日本大会	第13回	女子	3位	塩田佳苗
関西学生T選手権	第42回	男子	3位	藤井康史
関西学生T選手権	第42回	女子	優勝	塩田佳苗
関西学生T選手権	第42回	女子	2位	上野百百子
関西学生T選手権	第42回	男子団体	2位	(清水、吉川、藤井)
関西学生T選手権	第42回	女子団体	優勝	(安東、塩田、末陰)
全日本学生T選手権	第41回	女子	3位	上野百百子
全日本学生T選手権	第41回	女子	5位	塩田佳苗
全日本学生T選手権	第41回	女子	7位	本内絵美子
AJSAFカップ	第12回	男子	3位	(清水、吉川、藤井)
AJSAFカップ	第12回	女子	4位	(安東、塩田、末陰)
国体(高知)	第57回	成年女子	7位	上野百百子
国体(高知)	第57回	成年女子	8位	山路陽子
国体(高知)	第57回	成年女子団体	優勝	京都 上野、塩田が参加
世界学生選手権 (タイ:チョンブリ)	第4回	RC女子	10位	山路陽子

競技会名	回数	種別	順位	
世界学生選手権 (タイ:チョンブリ)	第4回	RC女子団体	4位	日本 山路が参加
アジア大会(韓国:釜山)	第14回	女子	23位	山路陽子
アジア大会(韓国:釜山)	第14回	女子団体	4位	日本 山路が参加
関西学生F選手権	第25回	男子	2位	吉川悦郎
全日本学生F選手権	第15回	男子	7位	吉川悦郎
全日本学生F選手権	第15回	女子	6位	森 香菜絵
関西学生インドア選手権	第7回	女子	3位	末陰章奈
全日本学生室内選手権	第3回	女子	3位	本内絵美子

H15年 2003年

リーグ戦	第43回	男子2部Cブロック	1位	3勝0敗
リーグ戦	第43回	男子1部2部入替戦	2位	(1部昇格)
リーグ戦	第38回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第38回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
西日本大会	第14回	女子	4位	塩田佳苗
関西学生T選手権	第43回	男子	優勝	藤井康史
関西学生T選手権	第43回	男子団体	2位	(清水、藤井、南)
関西学生T選手権	第43回	女子団体	優勝	(塩田、上野、末陰)
全日本学生T選手権	第42回	女子	3位	山路陽子
全日本学生T選手権	第42回	女子	6位	林 勇気
全日本学生T選手権	第42回	女子	8位	末陰章奈
AJSAFカップ	第13回	男子	7位	(清水、藤井、南)
AJSAFカップ	第13回	女子	2位	(塩田、上野、末陰)
国体(静岡)	第58回	成年女子	3位	林勇気
国体(静岡)	第58回	成年女子団体	優勝	兵庫 林が参加
全日本T選手権	第45回	RC男子	4位	藤井康史
全日本T選手権	第45回	RC女子	6位	林 勇気
ユニバーシアード(韓国:大邱)	第22回	RC男子	21位	藤井康史
ユニバーシアード(韓国:大邱)	第22回	RC男子団体	5位	日本 藤井が参加
ユニバーシアード(韓国:大邱)	第22回	RC女子	21位	林 勇気
ユニバーシアード(韓国:大邱)	第22回	RC女子	24位	上野百百子
ユニバーシアード(韓国:大邱)	第22回	RC女子団体	12位	日本 林、上野が参加
関西学生F選手権	第26回	男子	優勝	清水洋兵
関西学生F選手権	第26回	女子	優勝	塩田佳苗
全日本学生F選手権	第16回	女子	優勝	塩田佳苗
全日本学生F選手権	第16回	女子	4位	出口貴美子
全日本F選手権	第32回	RC女子	優勝	上野百百子
関西学生インドア選手権	第8回	女子	3位	本内絵美子
全日本室内選手権	第13回	RC女子	2位	林 勇気

H16年 2004年

リーグ戦	第44回	男子Aブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第39回	女子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第39回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)

競技会名	回数	種別	順位	
関西学生T選手権	第44回	男子	2位	遠藤 元
関西学生T選手権	第44回	女子	2位	林 勇気
関西学生T選手権	第44回	女子団体	優勝	(末陰、上野、林)
全日本学生T選手権	第43回	女子	2位	末陰章奈
AJSAFカップ	第14回	女子	5位	(末陰、上野、林)
全関西T選手権	第38回	女子	2位	末陰章奈
国体(埼玉)	第59回	成年女子	6位	本内絵美子
国体(埼玉)	第59回	成年女子団体	3位	鳥取 本内が参加
世界学生選手権 (スペイン:マドリッド)	第5回	RC女子	19位	林 勇気
世界学生選手権 (スペイン:マドリッド)	第5回	RC女子団体	銅メダル	日本 林が参加
関西学生F選手権	第27回	男子	3位	清水洋兵
関西学生F選手権	第27回	女子	優勝	塩田佳苗
全日本学生F選手権	第17回	男子	2位	清水洋兵
全日本学生F選手権	第17回	女子	7位	塩田佳苗
全日本F選手権	第33回	RC女子	6位	上野百百子
全日本学生室内選手権	第5回	男子	優勝	藤井康史
全日本室内選手権	第14回	RC男子	5位	藤井康史

H17年 2005年

リーグ戦	第45回	男子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第45回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第40回	女子Aブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第40回	女子3位決定戦	3位	(VS京産)
王座	第44回	男子	5位	(大槻、藤井、清水、遠藤)
王座	第40回	女子	優勝	(上野、末陰、南、林)
13年ぶり7度目				
西日本大会	第16回	男子	4位	清水洋兵
関西学生T選手権	第45回	女子	3位	角田夕佳
関西学生T選手権	第45回	男子団体	優勝	(大槻、遠藤、南)
全日本学生T選手権	第44回	女子	4位	角田夕佳
国体(岡山)	第60回	成年男子	8位	大槻 融
国体(岡山)	第60回	成年女子団体	優勝	兵庫 林が参加
国体(岡山)	第60回	成年女子団体	2位	京都 上野が参加
国体(岡山)	第60回	成年女子団体	4位	滋賀 南が参加
アジアグランプリ(韓国:蔚山)		女子	11位	林 勇気
アジアグランプリ(韓国:蔚山)		女子団体	銅メダル	日本 林が参加
アジア選手権 (インド:ニューデリー)	第14回	RC女子	22位	林 勇気
アジア選手権 (インド:ニューデリー)	第14回	RC女子団体	5位	日本 林が参加

競技会名	回数	種別	順位	
世界T選手権 (スペイン:マドリッド)	第43回	RC女子	37位	林 勇気
世界T選手権 (スペイン:マドリッド)	第43回	RC女子団体	8位	日本 林が参加
ユニバーシアード (トルコ:イズミール)	第23回	RC女子	8位	林 勇気
ユニバーシアード (トルコ:イズミール)	第23回	RC女子団体	4位	日本 林が参加
アジアグランプリ(バンコク)		RC男子	16位	藤井康史
アジアグランプリ(バンコク)		RC男子団体	金メダル	日本
関西学生F選手権	第28回	男子	3位	清水洋兵
関西学生F選手権	第28回	女子	優勝	谷口枝璃子
関西学生F選手権	第28回	女子	2位	上野百百子
全日本学生F選手権	第18回	男子	5位	清水洋兵
全日本学生F選手権	第18回	女子	優勝	上野百百子
全日本学生F選手権	第18回	女子	4位	谷口枝璃子
全日本F選手権	第34回	RC女子	4位	上野百百子
関西学生インドア選手権	第10回	女子	優勝	角田夕佳
関西学生インドア選手権	第10回	女子	2位	林 勇気
全日本学生室内選手権	第6回	女子	3位	林 勇気
全日本室内選手権	第15回	RC男子	8位	藤井康史
全日本室内選手権	第15回	RC女子	4位	上野百百子

H18年 2006年

リーグ戦	第46回	男子Bブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第46回	男子3位決定戦	3位	(VS京産)
リーグ戦	第41回	女子Bブロック	2位	4勝1敗
リーグ戦	第41回	女子3位決定戦	3位	(VS関学)
王座	第45回	男子	優勝	(福田、大槻、木下、宮下)
28年ぶり5度目				
王座	第41回	女子	準優勝	(林、角田、南、濱田)
西日本大会	第17回	男子	3位	福田圭宏
関西学生T選手権	第46回	女子団体	3位	(谷口、南、濱田)
全日本学生T選手権	第45回	男子	8位	福田圭宏
全日本学生T選手権	第45回	女子	3位	林 勇気
全日本学生T選手権	第45回	女子	4位	南 知里
全関西T選手権	第40回	RC男子	優勝	藤井康史(OB)
全関西T選手権	第40回	RC女子	2位	林 勇気
全関西T選手権	第40回	RC女子	3位	南 知里
国体(兵庫)	第61回	成年女子	優勝	南 知里
国体(兵庫)	第61回	成年女子	8位	林 勇気
国体(兵庫)	第61回	成年男子団体	3位	兵庫 藤井が参加
全日本社会人T選手権	第39回	RC男子一般	優勝	藤井康史
ワールドカップ st Age2(トルコ:アンタリア)		RC女子	20位	林 勇気
ワールドカップ st Age2(トルコ:アンタリア)		RC女子団体	4位	日本 林が参加
関西学生F選手権	第29回	女子	優勝	谷口枝璃子

競技会名	回数	種別	順位	
関西学生F選手権	第29回	女子	3位	藤吉彩乃
全日本学生F選手権	第19回	男子	2位	木下翔平
全日本学生F選手権	第19回	女子	4位	谷口枝璃子
全日本学生室内選手権	第7回	女子	2位	濱田紘代
全日本室内選手権	第16回	RC女子	5位	濱田紘代
H19年 2007年				
リーグ戦	第47回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第47回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第42回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第42回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
王座	第46回	男子	5位	(福田、宮下、金村、木下)
王座	第42回	女子	3位	(南、濱田、青山、松本)
西日本大会	第18回	女子	2位	南 知里
西日本大会	第18回	女子	5位	濱田紘代
関西学生T選手権	第47回	女子	3位	松本千晶
関西学生T選手権	第47回	男子団体	優勝	(福田、宮下、金村)
関西学生T選手権	第47回	女子団体	優勝	(南、青山、松本)
全日本学生T選手権	第46回	女子	2位	松本千晶
全日本学生T選手権	第46回	女子	8位	濱田紘代
AJSAFカップ	第17回	男子	2位	(福田、宮下、金村)
AJSAFカップ	第17回	女子	優勝	(松本、青山、南)
全関西T選手権	第41回	RC男子	優勝	藤井康史(OB)
全関西T選手権	第41回	RC女子	優勝	林 勇気(OG)
全関西T選手権	第41回	RC女子	3位	南 知里
国体(秋田)	第62回	成年男子団体	優勝	兵庫 藤井が参加
国体(秋田)	第62回	成年女子団体	2位	滋賀 南が参加
国体(秋田)	第62回	成年女子団体	3位	和歌山 濱田が参加
全日本T選手権	第49回	RC女子	3位	林 勇気(OG)
全日本社会人T選手権	第40回	RC男子一般	7位	藤井康史(OB)
全日本社会人T選手権	第40回	RC女子	4位	林 勇気(OG)
全日本社会人T選手権	第40回	RC女子	7位	上野百百子(OG)
アジアグランプリ(タイ:バンコク)		RC女子	11位	林 勇気(OG)
アジアグランプリ(タイ:バンコク)		RC女子団体	銀メダル	日本 林(OG)が参加
アジア選手権(中国:西安)	第15回	女子	21位	林 勇気(OG)
アジア選手権(中国:西安)	第15回	女子団体	銀メダル	日本 林(OG)が参加
オリンピック・アジア選考競技会(中国:西安) 女子			2位	林 勇気(OG)
オリンピック代表決定				
関西学生F選手権	第30回	男子	2位	金村 賢
関西学生F選手権	第30回	女子	優勝	濱田紘代
全日本学生F選手権	第20回	男子	2位	金村 賢
全日本学生F選手権	第20回	男子	7位	石山純平
全日本F選手権	第36回	RC男子	7位	木下翔平

競技会名	回数	種別	順位	
全日本室内選手権	第17回	RC男子	2位	藤井康史(OB)
H20年 2008年				
リーグ戦	第48回	男子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第48回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第43回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第43回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
王座	第47回	男子	7位	(土岐、福田、前田、金村)
王座	第43回	女子	準優勝	(南、青山、松本、西川)
西日本大会	第19回	男子	3位	金村 賢
関西学生T選手権	第48回	男子	2位	土岐秀幸
関西学生T選手権	第48回	女子	3位	南 知里
関西学生T選手権	第48回	男子団体	優勝	(福田、宮下、土岐)
アベック2連覇				
関西学生T選手権	第48回	女子団体	優勝	(西川、青山、松本)
全日本学生T選手権	第47回	女子	2位	松本千晶
全日本学生T選手権	第47回	女子	8位	濱田紘代
AJSAFカップ	第18回	男子	5位	(福田、宮下、土岐)
AJSAFカップ	第18回	女子	4位	(西川、青山、松本)
全関西T選手権	第42回	RC男子	優勝	福田圭宏
全関西T選手権	第42回	RC男子	3位	土岐秀幸
全関西T選手権	第42回	RC女子	優勝	林 勇気(OG)
全関西T選手権	第42回	女子	2位	南 知里
国体(大分)	第63回	成年女子	3位	林 勇気(OG)
国体(大分)	第63回	成年女子	5位	南 知里
国体(大分)	第63回	成年男子団体	3位	愛知 土岐が参加
国体(大分)	第63回	成年女子団体	4位	群馬 松本が参加
国体(大分)	第63回	成年女子団体	6位	愛知 青山が参加
国体(大分)	第63回	成年女子団体	7位	京都 林(OG)上野(OG)が参加
国体(大分)	第63回	成年女子団体	8位	滋賀 南が参加
全日本社会人T選手権	第41回	RC男子一般	5位	藤井康史(OB)
ワールドカップstAge2 (クロアチア:ポレチェ)		RC女子	21位	林 勇気(OG)
ワールドカップstAge2 (クロアチア:ポレチェ)		RC女子団体	7位	日本 林(OG)が参加
ワールドカップstAge3(トルコ:アンタルヤ)		RC女子団体	46位	林 勇気(OG)
ワールドカップstAge3(トルコ:アンタルヤ)		RC女子団体	8位	日本 林(OG)が参加
ワールドカップstAge4(フランス:ボエ)		RC女子	35位	林 勇気(OG)
ワールドカップstAge4(フランス:ボエ)		RC女子団体	15位	日本 林(OG)が参加
世界学生選手権(台北:台南)	第7回	RC女子	25位	松本千晶
世界学生選手権(台北:台南)	第7回	RC女子団体	銅メダル	日本松本が参加
オリンピック(中国:北京)	第29回	女子	45位	林 勇気(OG)

競技会名	回数	種別	順位	
オリンピック(中国:北京)	第29回	女子団体	8位	日本 林が参加
アジアグランプリ(タイ:バンコク)		RC女子	銀メダル	林 勇気(OG)
アジアグランプリ(タイ:バンコク)		RC女子団体	金メダル	日本 林(OG)が参加
関西学生F選手権	第31回	男子	3位	金村 賢
関西学生F選手権	第31回	女子	優勝	松本千晶
関西学生F選手権	第31回	女子	3位	西川祐未
全日本学生F選手権	第21回	男子	優勝	金村 賢
全日本学生F選手権	第21回	男子	5位	石山純平
全日本学生F選手権	第21回	男子	8位	宮下朋幸
全日本学生F選手権	第21回	女子	3位	松本千晶
全日本学生F選手権	第21回	女子	7位	張間舞妃
全日本学生F選手権	第21回	女子	8位	寺本美幸
全日本F選手権	第37回	RC男子	2位	金村 賢
全日本F選手権	第37回	RC男子	6位	池原隆太(OB)
全日本F選手権	第37回	RC女子	7位	西川祐未
全日本社会人F選手権	第29回	RC女子	5位	末陰章奈(OG)
全日本学生室内選手権	第9回	男子	3位	土岐秀幸
全日本学生室内選手権	第9回	男子	8位	臼井辰朗
アジアグランプリ(タイ:バンコク)		RC女子	銀メダル	林 勇気(OG)
アジアグランプリ(タイ:バンコク)		RC女子団体	金メダル	日本 林(OG)が参加

H21年 2009年

リーグ戦	第49回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第49回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第44回	女子Aブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第44回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
王座	第48回	男子	4位	(福田、土岐、松木平、宮下)
王座	第44回	女子	4位	(足立、松本、藤井、張間)
西日本大会	第20回	男子	優勝	福田圭宏
関西学生T選手権	第49回	男子	2位	臼井辰朗
関西学生T選手権	第49回	男子	3位	金村 賢
関西学生T選手権	第49回	男子団体	2位	(金村、土岐、音無)
関西学生T選手権	第49回	女子団体	2位	(松本、張間、足立)
全日本学生T選手権	第48回	男子	3位	音無浩佑
全日本学生T選手権	第48回	男子	5位	古川博康
全日本学生T選手権	第48回	男子	8位	福田圭宏
全日本学生T選手権	第48回	女子	5位	松本千晶
AJSAFカップ	第19回	男子	2位	関西選抜 宮下、古川が参加
AJSAFカップ	第19回	男子	3位	(土岐、金村、音無)
AJSAFカップ	第19回	女子	優勝	(足立、松本、張間)
全関西T選手権	第43回	RC男子	優勝	土岐秀幸

競技会名	回数	種別	順位	
全関西T選手権	第43回	RC男子	2位	福田圭宏
全関西T選手権	第43回	RC男子	3位	藤井康史(OB)
全関西T選手権	第43回	RC女子	優勝	松本千晶
全関西T選手権	第43回	RC女子	2位	林 勇気(OG)
全関西T選手権	第43回	RC女子	3位	南 知里(OG)
国体(新潟)	第64回	成年女子	6位	松本千晶
国体(新潟)	第64回	成年男子団体	7位	長野 宮下が参加
国体(新潟)	第64回	成年女子団体	優勝	兵庫 足立が参加
国体(新潟)	第64回	成年女子団体	5位	和歌山 張間が参加
国体(新潟)	第64回	成年女子団体	7位	群馬 松本が参加
全日本T選手権	第51回	RC男子	5位	土岐秀幸
全日本T選手権	第51回	RC女子	5位	林 勇気(OG)
全日本T選手権	第51回	RC女子	8位	松本千晶
全日本社会人T選手権	第42回	RC女子	3位	林 勇気(OG)
関西学生F選手権	第32回	男子	2位	金村 賢
関西学生F選手権	第32回	女子	2位	松本千晶
全日本学生F選手権	第22回	男子	3位	金村 賢
全日本学生F選手権	第22回	男子	6位	土岐秀幸
全日本学生F選手権	第22回	女子	優勝	松本千晶
全日本学生F選手権	第22回	女子	7位	西川祐未
全関西F選手権	第35回	女子	優勝	上野百百子(OG)
全日本F選手権	第38回	RC男子	7位	金村 賢
全日本F選手権	第38回	RC女子	5位	松本千晶
全日本社会人F選手権	第30回	RC男子	6位	井上直人(OB)
全日本社会人F選手権	第30回	RC女子	4位	上野百百子(OG)
全日本社会人F選手権	第30回	RC女子	5位	末陰章奈(OG)
関西学生インドア選手権	第14回	女子	優勝	松本千晶
全日本学生室内選手権	第10回	女子	7位	松本千晶
全日本学生室内選手権	第10回	女子	8位	張間舞妃
H22年 2010年				
リーグ戦	第50回	男子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第50回	男子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
リーグ戦	第45回	女子Bブロック	1位	5勝0敗
リーグ戦	第45回	女子優勝決定戦	準優勝	(VS近大)
王座	第48回	男子	5位	(金村・土岐・音無・松木平)
王座	第44回	女子	準優勝	(青山・松本・張間・足立)
全日本F選手権	第39回	RC男子	7位	小黒弘貴
全日本F選手権	第39回	RC女子	優勝	上野百百子(OG)
世界F選手権に日本代表として出場決定				
全日本F選手権	第39回	RC女子	5位	末陰章奈(OG)
全日本社会人T選手権	第43回	RC男子	2位	福田圭宏(OB)
全日本社会人T選手権	第43回	RC女子	3位	林 勇気(OG)

写真で振り返る 50 年 Last 5 Years



2006年 All Doshisha



2006年 リーグ戦順位決定戦



2008年 東京遠征



2009年 夏合宿



2009年 夏合宿

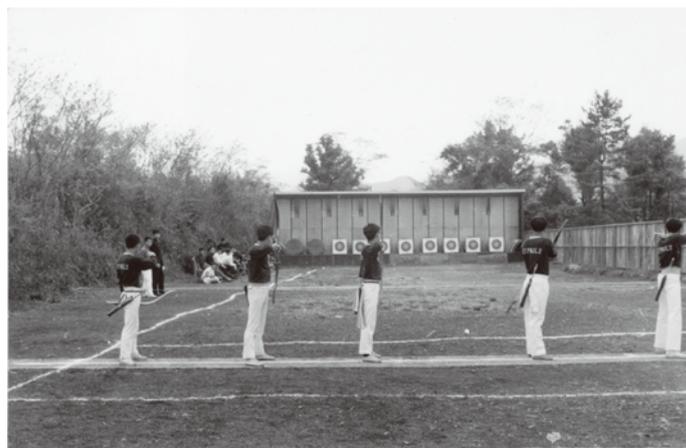


2009年 納射会

試合風景



1961年 第1回春季リーグ戦



1962年頃 岩倉レンジ



1967年 関西個人選手権
S44年卒 塚本耕二 優勝



1976年 駒沢 王座決定戦



1978年 万博 王座決定戦



1982年 西ブロック大会(団体)



1982年 関西学生個人選手権



1989年 王座決定戦



1990年 西ブロック大会（団体）



2008年 リーグ戦



2010年 女子王座決定戦
最終結果 準優勝

王座獲得



1966年王座決定戦



1972年王座決定戦



1973年 王座決定戦



1974年 王座決定戦



1976年 王座決定戦



1977年 王座決定戦



1978年 王座決定戦



1978年 王座決定戦



1982年 王座決定戦



1992年 王座決定戦



2005年 王座決定戦



2006年 王座決定戦

Doshisha Olympians



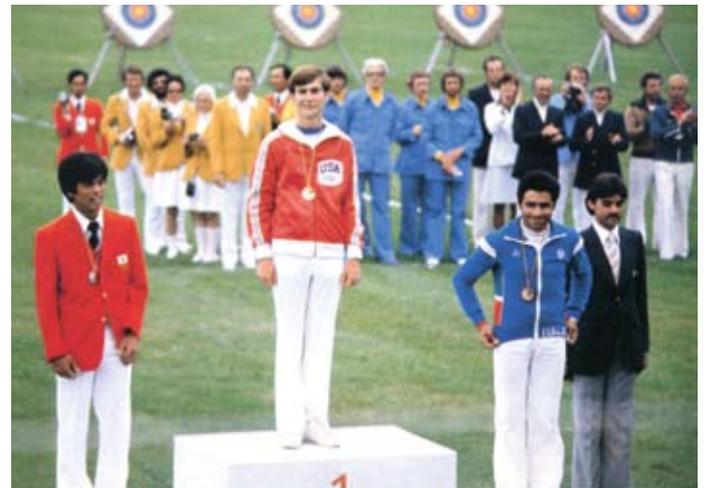
1972年 ミュンヘンオリンピック
S48年卒 日比野 正嗣



1972年 ミュンヘンオリンピック



1976年 モントリオールオリンピック
S54年卒 道永 宏



1976年 モントリオールオリンピック



2008年 北京オリンピック
H19年卒 林 勇気



2008年 北京オリンピック
準々決勝



1978年 アジア大会
S54年卒 後藤有理子



1977年 キャンベラ世界大会
S54年卒 道永 宏・後藤有理子



1976年 モントリオールオリンピック銀メダル
S54年卒 道永 宏



2008年 北京オリンピック団体8位
H19年卒業 林 勇気



2003年 韓国大邱 ユニバーシアード
H18年卒 上野百百子・藤井康史
H19年卒 林 勇気



2010年 ハンガリー世界フィールド選手権
H18年卒 上野百百子

合宿風景



1961年 春合宿 浜松ヤマハ



1964年 夏合宿 長野県野辺山



1968年 春合宿 岡山県玉野



1968年 夏合宿 長野県野辺山



1969年 春合宿 岡山県玉野



1969年 春合宿 岡山県玉野



1971年 春合宿 和歌山県田辺



1971年夏合宿 長野県野辺山



1973年夏合宿 長野県野辺山



1977年夏合宿 長野県野辺山



1985年夏合宿 長野県野辺山



1987年夏合宿 長野県清里

Good Old Days



岩倉レンジ完成



草むらシューティング



イベントでレンジの資金集め



1967年春 総長杯受賞





1968年 納射会



1970年 納射会



1967年 関個 男女団体優勝



1977年 明治大学定期戦



1990年 田辺レンジにて



2009年 追出しコンパ

編集後記

50周年記念誌の編集に携わり、諸先輩とともに活動する貴重な機会をいただきました。

力不足で何も出来ませんでした。脈々とつながる歴史を再認識し、アーチェリー部の一員であることに誇りを感じた活動期間でした。大いなる先輩方に改めて感謝申し上げます。(山口 裕子)

50周年という節目の年に、記念誌の編集に関わらせていただき、昔の記憶をたどり、学生時代を思い出す貴重な時間を過ごさせていただきました。お受け取りになりました皆様にも、記念の一冊となりましたら幸いです。お世話になりました皆様、本当にありがとうございました。(宇野 珠美)

半世紀に亘るクラブの歴史を今回じっくりと見させていただきました。時は戦後の高度経済成長期からバブル崩壊やミレニアムを経て今に至るわけですが、考えてみれば自分の年齢でさえ50とほんのちょっとでしかありません。振り返る過去は走馬灯などとは言いますが、これを短いと見るか長いと見るか。ま、よくぞここまで来たもんだとは思いますが。次回の記念誌編集にはもっと若い世代もどしどし参加して下さいね。楽しいですよ。(伊東 弘之)

この記念誌編集にあたり、記録収集をメインに参画させていただきました。多くの先輩方・後輩達の素晴らしい戦績に触れ、このクラブに在籍したことをあらためて誇りに思いました。

仕事の都合であまり委員会には出席できませんでしたが、フォローしていただいた委員の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。(倉貫 正弘)

今回の記念誌『射る矢にこむる』は時代の進歩に助けられ、全ての原稿をこの委員会に於いて製版しました。この50年の500名の残した史実を我々なりに噛みしめ表現できたものと思います。

これからも、同志社アーチェリーが、羽ばたき日本一のクラブとして成長していくことを心より、祈っています。(河内 敬雄)

委員長として記念誌制作にあたらせていただきましたが、50周年の節目ということで限られた予算の範囲でも盛りだくさんの内容を載せたいとのことから、そのまま印刷できる原稿データを委員会で作ることにしました。委員の皆さんには何度も重ねた委員会に加えて、メールでの原稿チェックや意見交換など本当にご苦勞をお掛けしました。特に宇野委員には忙しい中、大変な作業量をお願いしました。

また多くの方から寄稿や写真提供のご協力を頂き、皆様のご協力に心より感謝いたします。この記念誌が、OBOGの情熱の証、現役の誇り、未来への礎となることを願います。(日比野正嗣)

実力を遺憾なく発揮の藤好編集長 ミュンヘン五輪経験者として幅広い知識の日比野委員長 名簿管理・連絡役の河内氏 議事録や写真編集の伊東氏 丹念な記録収集の倉貫氏 原稿の打ち込み・編集等膨大な仕事量の宇野さん 栄光館の部屋を提供協力の山口さん 全員仕事や私生活をなげうち睡眠時間を削っての大活躍 個性豊かで頼もしいプロ集団！ その底力とクラブへの愛情の深さに感謝と感動！ 私といえば恩返しのため編集委員に 少しでも役にたったのかな？ このチームの一員として50周年記念誌の仕事に関われたことは誇りです 同志社アーチェリーよ永遠に！(塚本 廣子)

この記念誌は、同志社大学体育会アーチェリー部の輝かしい50年の伝統を振り返るとともに、次の世代に同志社アーチェリー魂を継承するための証として刊行します。

発行にあたっては、関係各位、OBOG 諸氏ならびに現役諸君から、原稿・写真の提供など多大のご協力をいただきました。心よりの謝意を表します。

また、この記念誌は怠惰な編集長をサポートしてくれた7名の編集委員の一年余に亘る献身的な努力がなければ成しえなかったことを申し添えます。

最後に遠い昔を懐かしみ一首。「夏の日 思い出尽きぬ 野辺山の あの幾千の 星の煌めき」(藤好 洋)

同志社大学体育会アーチェリー部創部50周年記念誌

2010年7月31日発行

発行：同志社大学体育会アーチェリー部 OBOG 会

編集：同志社大学体育会アーチェリー部 創部50周年記念誌編集委員会

(伊東 弘之・宇野 珠美・河内 敬雄・倉貫 正弘・塚本 廣子・日比野 正嗣・藤好 洋・山口 裕子)

印刷：桜井紙商事株式会社

大阪市東住吉区桑津 1-5-2 TEL 06-6777-0567 FAX 06-6777-0568

同志社大学体育会アーチェリー部々歌

作曲 加藤 陽 (40 年度卒)

作詞 1 番 梅沢 浩和 (40 年度卒)

2 番 松山 義則 (名誉部長)

3 番 鈴木 直人 (部長先生)



ひ えい の も と ー に あ つ ま ー り て せ



い し ん こ め て ひ く ー ゆ み ー に こ



も る わ れ ら の こ こ ー ろ い き



フ ェ イ ト フ ェ イ ト し ょ う り あ れ 同 志 社 ア ー チ ェ リ ー

一、

比叡の下に集まりて
精神込めて引く弓に
こもる我らの心意気
フアイト、フアイト勝利あれ
同志社アーチェリー

二、

田辺の丘に集いきて
若き命は満ち溢れ
射る矢にこもる心意気
フアイト、フアイト勝利あれ
同志社アーチェリー

三、

世界を目指し集い来て
精神込めて射る弓の
同志社健児の心意気
フアイト、フアイト勝利あれ
同志社アーチェリー



1960-2010

2010.7.10